

札幌ドームの「社会と環境への取り組み」についての最新情報は
下記ホームページをご覧ください。

<http://www.sapporo-dome.co.jp>

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください

札幌ドームホームページに、札幌ドームのCSR活動および本CSRレポートのアンケート
をご用意しております。皆さまの忌憚のないご意見やご感想をお聞かせください。

株式会社 **札幌ドーム**

〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 TEL011-850-1000(代) FAX011-850-1011

発行:2012年6月 ※2012年6月現在の資料をもとに作成しています。内容は変更になる場合があります。



インクは植物油インクを
使用しています。



CARBON OFFSET

この報告書は、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用することにより、
CO₂削減事業ならびに東北経済復興を応援しております。



札幌ドーム



札幌ドーム
CSRレポート 2012
SAPPORO DOME Co.,Ltd. CSR REPORT

お読みいただく皆さまへ [編集方針]

株式会社札幌ドームは、2008年より、「環境への取り組み」を中心とした年次報告書を発行してまいりましたが、昨年2011年には、札幌ドーム開業10周年を迎えましたことを機に、初めて「CSRレポート」として当社の取り組みを報告させていただきました。本年につきましても、当社にとってのすべてのお客さま(=ステークホルダー)に、CSRに対する当社の考え方や事業活動をご理解いただく重要なコミュニケーションツールとして「札幌ドームCSRレポート2012」を発行いたします。

本レポートでは、ステークホルダーの皆さまのために当社が取り組むべき課題について、ISO26000(社会的責任に関する手引き)などを参考にしながら、改めて整理し、コンプライアンスへの取り組みや社員との関わりについても記載いたしました。また、新しい試みとして、当社のCSRを担う社員の思いや、当社にとって大切なステークホルダーでありますコンサドーレ札幌さまと北海道日本ハムファイターズさまの地域社会への思いも掲載させていただきました。

本レポートをお読みいただく皆さまに、できるだけわかりやすくお伝えるため、図表や写真を多く用いるとともに、親しみを持っていただけるよう札幌の街並みや札幌ドームを訪れてくださる皆さまのイラストをレイアウトいたしました。CSRレポートとしての内容は、まだまだ不足している点もありますが、本レポートの発行を今後の更なるCSRの推進につなげていきたいと考えておりますので、皆さまからの忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いに存じます。

株式会社 **札幌ドーム**

CONTENTS [目次]

TOPメッセージ	3
感謝の気持ちを込めて、開業10周年記念事業を実施いたしました	5
札幌ドームのCSR	9
● 経営理念・行動指針	9
● 中期経営計画におけるCSRへの取り組み課題	10
すべてのお客さまのために	11
● すべてのお客さまの安全と安心のために	11
● 最高の舞台であるために	15
● より楽しく、より快適にご利用いただくために	19
● お客さまの声をかたちに	23
地域社会とともに	25
● 地域とともに成長するために	25
公正に事業を推進するために	29
● 信頼される企業であるために	29
社員とともに	31
● 誇りに思える職場であるために	31
環境にやさしい施設を目指して	33
● 環境にやさしい施設であるために	33
資料	41

私たちの事業活動

施設設備の維持管理

施設設備の適切な維持管理を行うとともに、必要な施設改良等の工事を行っています。

貸館事業

アリーナ等のイベント利用の貸出及びイベント運営サポートを行っています。

広告事業

札幌ドーム内の広告看板等の販売管理を行っています。

駐車場・チケット事業

札幌ドーム駐車場の管理運営やイベントチケットの販売管理を行っています。

飲食・物販事業

札幌ドーム内のレストランや売店など飲食・物販の管理運営を行っています。

観光・市民利用事業

ドーム展望台・見学ツアーの運営や草野球等の市民利用管理を行っています。

市民還元・社会貢献

招待事業や自主イベント開催等を通じて、市民還元・社会貢献に努めています。

環境への取り組み

環境にやさしい施設を目指して、よりよい環境づくりに取り組んでいます。

報告対象期間

本レポートでの報告は、2011年度(2011年4月1日～2012年3月31日)の活動を対象としていますが、当社の事業活動をご理解いただくため、札幌ドーム開業からの取り組みについてもご紹介しています。

ホームページへの掲載

本レポートは、ホームページ上におきましても閲覧いただけるようpdfを掲載しています。また、札幌ドームホームページに、札幌ドームのCSR活動および本CSRレポートのアンケートをご用意しております。皆さまの忌憚のないご意見やご感想をお聞かせください。

発行時期

2008年より年次報告として毎年発行しています。
・2008年6月 札幌ドームECO MOTIONひとりひとりがエコプレイヤー
・2009年6月 環境報告書
・2010年6月 社会・環境報告書
・2011年6月 CSRレポート2011
・2012年6月 CSRレポート2012

<http://www.sapporo-dome.co.jp>

変化を求め、新たな喜びと感動を

2011年は、震災から復興に向けた全国的な取り組みが様々な形で行われましたが、札幌ドームでも、チャリティーマッチの開催やその他多くのイベント開催の場において募金活動が行われたほか、被災された方を札幌ドームの試合観戦にご招待する企画に協力するなどし、微力ながらも復興支援の一助とするための活動を進めてまいりました。そうした中、札幌ドームは開業10周年を迎え、私たちは、スポーツ・エンターテインメントが持つ力を改めて実感するとともに、札幌ドームに寄せられる市民道民の皆さまの期待と当社の責務の大きさを認識する1年となりました。

振り返りますと、2011年は、北海道日本ハムファイターズによる2年ぶりの「クライマックスシリーズ」開催やコンサドーレ札幌の4年ぶりのJ1昇格決定など、両フランチャイズチームが大いに活躍し、また、3年ぶりに開催されたサッカー日本代表戦は、札幌ドームでは初の日韓戦となり大きな盛り上がりを見せました。コンサートも過去最高の8日間開催されたほか、開業10周年を機に立ち上げた「6時間リレーマラソン」や「トヨタ・ビッグ・エア」、「札幌モーターショー」といった新規イベントも多く開催することができました。その結果、過去最高の稼働率を更新し、総来場者数は306万人となりました。

開業10周年の節目の年に、こうして多くのお客さまをお迎えし、楽しんでいただくことができましたことは、公の施設であります札幌ドームをより多くの皆さまに安全安心

な環境のもと快適にご利用いただくことを最大の責務とする私たちにとって大きな喜びであります。ご来場いただきましたすべてのお客さまとその舞台を支えていただきました多くのステークホルダーの皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。

そして、私たちは今、すでに新たな10年におけるスタートを切っております。今後は、お客さまが求める喜びも多様化し、これまで果たしてきた札幌ドームの役割や私たちに求められる責務も徐々に変化していくであろうと考えています。したがって、私たちは、決して現状に満足することなく、札幌ドームならではの变化を求め、お客さまが常に新たな喜びと感動を得られるようなエンターテインメントの舞台としての魅力向上と更なるCSRの推進に努めていかなければなりません。

今後とも、皆さまの更なるご期待に応えられるよう総力を結集して邁進してまいりますので、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

長沼 修



ホスピタリティを高め、お客さまにとって最高のドームに

2001年に開業した札幌ドームは、昨年6月、無事開業10周年を迎えることができ、本年6月までに累計で2,800万人を超えるお客さまをお迎えしてまいりました。これもひとえに多くの皆さまのお力添えの賜物であると心より御礼申し上げます。

開業10周年を迎えるにあたり、まずは社内公募によりキャッチコピーを「夢、感動、新たなステージへ ～ありがとう開業10周年!あなたと、これから～」に決定いたしました。このキャッチコピーには、社員一人ひとりの思いであるこの10年間におけるお客さまへの感謝の気持ちが込められています。そして、この社員の思いが、「6時間リレーマラソン」の立ち上げをはじめ、10周年記念弁当の発売やグルメ企画の展開、「子ども絵画展」の開催などを通して形となり、お客さまにとって新しい喜びに繋がったとすれば、これほど嬉しいことはありません。また、社員にとっては、これらの記念事業を一から企画検討し、実施していく過程を通して、改めて「ホスピタリティ」の大切さを考える機会になったものと考えています。

本当に喜ばれるホスピタリティには、相手に対する主体的な思いやりが必要となります。社員一人ひとりが、損得ではなく良心や善悪で考え、それぞれのお客さまにあった一番良い接客とは何かを判断し、実践していかなければなりません。これまでの10年間は、施設の新しさや、イベントそのものの魅力により、多くのお客さまにご来場いただきましたが、これからは、そうしたホスピタリティを高めていかなければ、本当の意味でお客さまにご満足いただくことはできないと考えています。

札幌ドームは、これまで多くの皆さまに支えられてまいりました。新たな10年におきましても、常に最高のホスピタリティを追求し、すべてのお客さまにとって最高のドームであり続けることこそが、私たちに課せられた社会的責任だと考えています。今後ともその責務を果たせるよう邁進してまいりますので、何卒よろしく御礼申し上げます。

代表取締役専務 島津 貴昭



感謝の気持ちを込めて、開業10周年記念事業を実施いたしました

2001年6月2日に開業した札幌ドームは、2011年に開業10周年を迎えました。お客さまへ10年間の感謝の気持ちを込めて、さまざまな記念事業を展開しました。

開業10周年を広く告知・広報するため 広報コンセプトに基づいて活動を展開しました

「10周年おめでとう」と思ってくれるすべての人に、感謝の気持ちを伝えたい。「あれから10年」の懐かしさと、「この先10年」への期待感を共有したい」を広報コンセプトに決定。北海道内のあらゆる人・企業をターゲットに注目度アップなどを狙って開業10周年の告知・広報展開、事業計画・活動を進めました。

●ロゴマーク



●キャッチコピー

夢、感動、新たなステージへ
～ありがとう開業10周年！あなたと、これからも～

キャッチコピーを制作し ロゴマークは 一般公募によって決定

開業10周年キャッチコピーは社内公募を行い、社内会議で決定。ご来場されるお客さまや地域の皆さまに開業10周年を広く知っていただくためのロゴマークは、一般公募を行いました。選考委員会による選考の結果、長濱孝太さま(札幌市・会社員)の作品が採用されました。



●記念装飾

各種ツールにロゴマークを 活用して10周年をアピール

開業10周年について目にする機会を増やし、より身近に感じてもらうために、各種ツールにロゴマークを使用。館内各所への装飾をはじめ飲料用紙カップ、社員のバッジや名刺、広報物、広告などに活用しました。



●紙カップ



●地下鉄広告

「YOSAKOIソーラン祭り」で 記念イベントの開催などを告知

2011年6月8日～12日に開催された「YOSAKOIソーラン祭り」への協賛広告で、開業10周年のキャッチコピーとロゴマークとともに記念イベント開催を告知。扇子型で閉じて叩くと音が鳴るハリセンを配布したほか、パレードで使用される地方車などで告知しました。



札幌ドームの歴史を振り返る 「開業10周年メモリアル展」を開催

メモリアルコーナーの展示物をこれまでのあゆみに沿って並べ、「札幌ドーム開業10周年メモリアル展」を開催。建設中の空撮写真パネルや開業時のポスターなどから展示物を時系列に展示し、年表を加えて10年の歴史を振り返っていただきました。



サッカーや野球、コンサートなどに関連した記念品を展示しました。

自主・共催イベントなどで 札幌ドーム開業10周年をさらに盛り上げました

開業10周年を記念した札幌ドーム企画・運営の自主・共催イベントを開催。さまざまなイベントともタイアップし、イベントの告知とともに開業10周年を合わせて告知し、感謝の気持ちを込めて事業を推進しました。



展望台コンサート

開業10周年を記念し、「Sapporo サンセット・ジャズ in DOME」を2011年7月2日に札幌ドーム展望台で開催しました。



ワンピース ドームツアー

人気アニメ「ワンピース」の世界を楽しんでいただけるイベントを2011年6月17日～19日に開催しました。



ワールドホビーフェア

最新のゲームやホビーを展示・体験する「次世代ワールドホビーフェア'11 Summer」を2011年7月10日に開催しました。



小田和正コンサート

2011年9月3日に札幌ドームでは初の小田和正のコンサート「ともども～その日が来るまで～」を開催しました。

「北ガスグループ 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム」を開催し、 多くの皆さまにご参加をいただきました

開業10周年記念事業として、2011年7月3日に札幌ドームの自主イベント「北ガスグループ 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム」を開催しました。競技人口が急増しているマラソンをテーマとした参加型のイベントで、アリーナと屋外を組み合わせた特設コースを用意。10人までを1チームに、6時間で周回数を競う種目と42.195kmをどれだけで時間で走破できるかを競う2種目を実施しました。多くのご参加をいただき、2012年も継続開催が決定しています。



札幌ドームを仲間や家族で楽しく走っていただくことを テーマに「6時間リレーマラソン」を立ち上げました

札幌ドームらしく変化に富んだ コースを設定

松重 マラソンブームの中、10周年記念事業として参加型の自主イベントを立ち上げられればと、まずは名古屋、福岡の各ドームで行われたリレーマラソンを視察しました。リレーゾーンの運用や人の流れ、受付の様子を調査し、本格的な開催準備を始めました。1周2kmのコースづくりが課題でしたが、札幌ドームらしく散策路など自然の中も走れるよう工夫。安全に配慮し、コース内のコンクリートや枕木舗装の段差などの補修、滑り止めの処置なども行いました。

徳永 私も実際に視察をして、これまで札幌ドームで開催してきたイベントのノウハウを生かせればできるはずだと感じました。コースはホヴァ

リングサッカースタジアムや緑の木々などいろいろな景色の変化を見ることができ、普段は通行できない搬入路も通るなど、札幌ドームならではの設定ができ、参加した皆さまに楽しんで走っていただくことができました。

お客さまの声を反映し より良いイベントを目指します

松重 当日、参加者が一斉にスタートするのを見た時は感慨深かったですね。参加した皆さまから、来年もぜひ開催してほしいという声をいただいたのもうれしかったです。札幌ドームは道内で唯一の規模と特徴を持つ施設ですから、お客さまが求めることでしかできないイベントを、今後もご提供していくことが必要だと思います。

徳永 2011年の開催後に実施したアンケートをもとに、コースの



カーブの箇所を減らすなど一部を見直し、今年の開催に活かしています。お客さまのご意見を汲み取ってより良いものに上げていかねば、イベントは続けることができません。仲間と一緒に楽しみながら走る札幌ドームならではのマラソンイベントとして長く継続させ、マラソン競技の底上げにもつながればと思っています。札幌ドームには、社会貢献や市民の皆さまへの還元という役割もありますから、お客さまのニーズに応えるイベントをさらに増やしていきたいです。

楽しい仮装でイベントを盛り上げてくれた参加者も。



(右) 営業部 事業課 課長代理 徳永 光貴

(左) 施設部 設備課 課長代理 (当時 営業部 事業課所属) 松重 一正



メンバーズクラブ会員さまを対象に コンサドーレ札幌戦で特別企画を実施

札幌ドームメンバーズクラブ会員の皆さまへ感謝の気持ちを込めて、コンサドーレ札幌戦でのイベント参加者を募集。2011年7月6日のコンサドーレ札幌vsギラヴァンツ北九州戦の特別企画として、キックインセレモニーやエスコートキッズなどに参加いただきました。



北海道日本ハムファイターズ戦で 開業10周年スペシャルデーを開催

2011年10月4日の北海道日本ハムファイターズvs東北楽天ゴールデンイーグルス戦を、当社によるスポンサーデー「札幌ドーム開業10周年スペシャルデー」として開催。一般来場のお客さまと札幌ドームメンバーズクラブ会員さまそれぞれに向けたプレゼントや特典などを用意しました。



さまざまなグルメ企画を お客さまにお楽しみいただきました

札幌ドーム開業10周年記念事業の一環として、さまざまなグルメ企画を実施。札幌ドームでのご飲食をさらに楽しんでいただくための新たなメニューや企画を展開しました。

開業10周年記念 札幌ドーム弁当を発売

札幌ドームの外観を模したパッケージで、華やかなメニューに仕上げた記念弁当を発売。社長挨拶を記載した品書きとオリジナルポストカードも封入しました。



夏の女子会 ドームで決まり! Lady Go!!!!!!開催

より多くの女性の皆さまのご来場を目指し、女子会をキーワードに展開。2011年8月2日～25日の期間限定で、夏らしいメニューを打ち出しました。



対象メニュー購入でビンゴゲームにチャレンジ グルメBINGOツアー ～ドームのグルメを食べつくせ～

札幌ドーム内の飲食売店の対象メニュー購入でビンゴゲームにチャレンジしていただき、完成した列の数で賞品が当たるキャンペーンを2011年5月15日～7月17日のイベント開催日に実施。多数のご応募の中から抽選で、40型テレビやホテル宿泊券、札幌ドーム商品券などの賞品をプレゼントしました。



キャンペーン期間中にスタンプを集め、縦・横・ななめのいずれか1列～3列以上完成させたお客さまに、館内2カ所の応募コーナーに投函いただきました。完成した列の数によって賞品を用意し、抽選で計118名さまにプレゼントしました。

半年がかりで開発した記念弁当は予想を上回る人気に お客さまに喜ばれ、苦勞がすべて報われました

お弁当の企画段階から手がけ 告知にも力を入れました

石澤 開業10周年記念のお弁当は、私たちが力を合わせてコンセプトから一つひとつのメニューまで考え、半年がかりで発売にこぎ着けることができました。お弁当製造工場の担当者に希望を説明し、納得がいくまで何度も協議を重ねました。無理なお願いにも対応していただいた担当の方に、とても感謝しています。

北條 お弁当の告知は、広報の担当者として協力し、当社が定期的に発行しているツールやホームページ、地下鉄広告などに掲載。雑誌社やテレビ局からイベント情報などの問い合わせをいただく、お弁当に関する情報も提供して告知してもらいました。



各売店のスタッフの皆さまにご協力いただき、一丸となって10周年記念グルメ企画をテレビで告知。

おかげさまでお客さまからの反響も大きく、予想を上回る人気になりました。

売店事業者さまのご協力により グルメ企画も大成功に

北條 開業10周年を記念して売店と連動した企画「グルメBINGOツアー」「Lady Go!!!!!!」も実施。各売店事業者さまの思いや販売方針はさまざま、意見をまとめるのは大変でしたが、どうしたらお客さまにご満足いただけるかについて、事業者さまとぎりぎりまで話し合い、形にしました。企画後のお客さまアンケートに「おいしかった」というコメントがたくさんあり、感無量でした。企画を通じて、売店事業者さまにもお客さまにも喜んでいただけたことが何よりうれしいです。

石澤 試行錯誤の連続の末に、記念企画をやり遂げることができました。



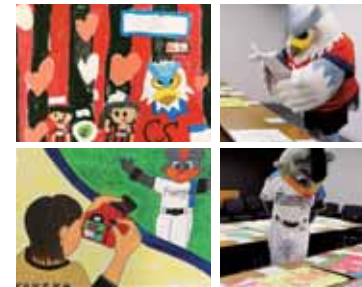
自分が企画したお弁当がコンコースで売られ、たくさんのお客さまが買ってくださっている様子を見られると、とにかくうれしくなります。中には来場される度にお気に入りのお弁当を買ってくださるお客さまもいらっしゃいます。ご満足いただいている様子を見ると、裏方としての苦勞がすべて報われる思いです。これからも、お弁当や売店メニューの企画など、常に新たなアイデアを提案し続けていきたいと思っております。



(右) 商業部 商業一課 石澤 華子
(左) 商業部 商業一課 北條 なお

札幌ドームでの思い出や夢を描く 「札幌ドーム ども絵画展」を初開催

小学生を対象に、札幌ドームでの思い出や夢を描いた絵を募集。寄せられた計157点の作品を審査し、札幌ドーム大賞をはじめとする29点の入賞作品を決定しました。入賞作品は札幌ドームホームページで公開し、2011年10月8日に札幌ドーム展望台で表彰式を開催。9月21日～10月31日には全応募作品を南北連絡通路に展示し、来場者の皆さまに楽しんでいただきました。



札幌ドーム大賞	金賞
<p>ファイターズ、きょうもかったぞ!!</p> <p>桂川 茉侖 さん (小学1年生)</p>	<p>小学 1・2年生 部門 コンサドールズ 小館 加乃莉 さん (小学2年生)</p>
	<p>小学 3・4年生 部門 みんなでたすきをつなげ!!</p> <p>鈴木 俊太郎 さん (小学3年生)</p>
	<p>小学 5・6年生 部門 ニッポンオ～レ～</p> <p>横田 翔 さん (小学5年生)</p>

※学年は、いずれも応募当時のものです。

将来を担う子供たちに楽しんで参加してもらおうと 「札幌ドーム ども絵画展」を企画しました

子供らしい感性のバラエティに 富んだ作品が集まりました

坂本 札幌ドームには、将来を担う子供がたくさん来てくれるので、その子供たちを対象にした企画を立案しました。作品はどれも子供らしい感性が光り、構図も色も考えていた以上にバラエティ豊か。施設をはじめ選手やチームマスコット、食べ物など描く素材もさまざまでした。体験したことほかに、ドームでプレーしている自分の将来像など「夢」が描かれた作品もあり、まさに願っていた通りの企画になりました。コンサドール札幌さまと北海道日本ハムファイターズさまにご協力いただき、子供たちに大人気のドレークさんとB・Bが審査や表彰式に登場してくれたことも、ドームらしさが出て好評でした。

関 初めての企画で、募集や審査などに関わる細かい作業が多く大変な面もありましたが、入賞作品

の決定後、一人ひとり入賞を電話連絡したところ、とても喜んでいただけました。通常の業務では、お客さまと実際に話せる機会は少ないので、直接、喜びが伝わってきたのが、私にとってもうれしい経験になりました。親子そろって表彰式を楽しみにしてくれて、当日は子供たちが元気いっぴいの笑顔で参加してくれました。

今後もさらにお客さまに 喜んでいただける企画の提案を

坂本 将来のドームファンである子供向けの企画として、絵画展は今後も継続して開催していく考えです。絵画展が20年、30年と続く企画になるとともに、もっとほかにもいろいろな方たちに参加していただける企画を打ち出し、より身近に



感じていただくことができ、常にいろいろな魅力を提供できる札幌ドームでありたいと思っています。

関 今回の絵画展のように、札幌ドームを通じて子供たちに夢を持ってもらい、参加することで一生の思い出をつくってくれればと思います。10周年がステキな企画を考えるきっかけになったので、今後はさらにお客さまに喜んでいただける企画ができるはずだと、熱意に燃えています。

(右) 営業部 事業課 課長 坂本 佳洋
(左) 営業部 事業課 関 春香



小学生サッカー教室を開催

コンサドール札幌の選手・コーチにご協力いただき、人工芝のアリーナで小学生対象のサッカー教室を2012年1月12日に開催。技術の向上を目指すとともに、コンサドール札幌ならびに札幌ドームへの関心を高めてもらいました。



来場者数2,500万人を達成しました

札幌ドーム開業から10年間にわたる来場者数が、2011年6月8日に2,500万人を達成。当日の北海道日本ハムファイターズ戦終了後、2,500万人目のお客さまへグラウンドで記念品の贈呈式を行いました。



私たちはエンターテインメントビジネスを通して、常に最高のホスピタリティを追求し、すべてのお客さまの夢と感動を実現するステージを創造します

エンターテインメントビジネス:すべてのお客さまをもてなし、楽しんでいただくことを通して、ともに喜びを分かち合えるビジネス。
ホスピタリティ:思いやり・優しさの気持ちをもって、人と人とが心を通じ合わせ、楽しさ・喜び・感動を共有すること。
ステージ:空間としての舞台や劇場のほか、旅程・段階・ステップの意味も込めています。

[行動指針] Guiding Principles

- すべてはお客さまのために
- ・視野を広く、発想豊かに新たな価値を創造します
 - ・思いを一つに、ともに楽しみ、喜びを共有します
 - ・高い理想を掲げ、責任と誇りをもって行動します
- 私たち一人ひとりが札幌ドームです

私たちにとってのすべてのお客さま

イベントの主役となるプロスポーツ選手・アーティストの皆さま、イベントを主催される皆さま、観戦観賞のためにご来場される皆さま、観光に訪れる皆さま、札幌ドームのある街に暮らす皆さま、夢と感動のステージを一緒に支えていただいております多くの委託事業者さま、株主の皆さま、そして社員、そのすべてが大切なお客さまであり、私たちのステークホルダーです。

私たちにとってのCSR

当社は、札幌ドームを管理運営するために札幌市が55%出資して設立した第3セクターでありますことから、札幌ドーム条例第1条に定める施設の設置目的は、当社が果たすべき第1の使命であります。したがって、当社の事業活動の成果は広く市民や地域社会に還元されていくべきものであり、私たちにとってのCSRとは経営そのものであると考えています。

2006年、指定管理者制度が導入されるにあたり、初めての中期経営計画を策定した際には、一企業として社会に果たすべき使命と責任、そして目指すべき姿を明確にし、全社員共通の羅針盤とするため、経営理念を策定しました。

2010年には、翌年の開業10周年を見据えた第2次中期経営計画を策定し、次の10年に向けてありたい姿を中長期ビジョンとして示すとともに、CSRへの取り組み課題を盛り込んだ中期経営方針(2010-2012)を定め、現在、その実現に向けて取り組みを進めています。

私たちにとってCSR経営を推進することは、社会からの信頼を獲得して企業価値を向上させるだけでなく、社会の持続可能な発展と未来のスポーツ文化、市場・顧客の創造にも貢献し、さらには、自らの業務や会社への誇りを醸成し、社員一人ひとりのモチベーション向上と組織活性化にも寄与していくものだと考えています。

札幌ドーム条例

第1条 本市は、内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与するため、札幌市豊平区羊ヶ丘に札幌ドームを設置する。



1998年	株式会社 札幌ドーム設立
1999年	札幌ドーム条例 制定
2001年	札幌ドーム 開業
2006年	経営理念策定 第1次 中期経営計画策定(～2010年) 指定管理者制度 導入
2010年	中長期ビジョン策定 第2次 中期経営計画策定(～2012年)
2011年	開業10周年

夢と感動あふれる未来の創造へ

■中長期ビジョン ～次の10年に向けてありたい姿

あらたな夢と感動を生み続けるステージへ —
より一層の社会的使命と責任を果たし、地域とともに成長する企業を目指します

■中期経営方針 2012

「安定から挑戦」へ
「進化するドーム」へ
第3セクターの「ビジョナリーカンパニー」へ

ビジョナリーカンパニー:基本理念をしっかりと維持し、かつ先見性を持って進歩する企業

すべてのお客さま(=ステークホルダー)とCSRへの取り組み課題のイメージ



中期経営計画におけるCSRへの取り組み課題

[消費者課題]

- **すべてのお客さまのために**
- **すべてのお客さまの安全と安心のために**
 - リスクマネジメントの確立
 - 施設設備の維持更新および次期改修に向けた具体的な計画検討
- **最高の舞台であるために**
 - 多目的ドームとしての可能性の拡大
 - コンサドーレ札幌・北海道日本ハムファイターズとの連携
- **より楽しく、より快適にご利用いただくために**
 - 飲食・物販事業、自主イベントでの新たなサービス展開
 - 市民利用サービスの充実
- **お客さまの声をかたちに**
 - ホスピタリティの具体化、更なる充実

[コミュニティへの参画及びコミュニティの発展]

- **地域社会とともに**
- **地域とともに成長するために**
 - 新規イベント誘致
 - 地域貢献活動の積極的な推進
- **信頼される企業であるために**
 - 公共性を意識した事業活動の推進
 - コンプライアンスの確立

[労働慣行・人権]

- **社員とともに**
- **誇りに思える職場であるために**
 - ワークライフバランスの推進
 - 人材育成の充実
- **環境にやさしい施設を目指して**
- **環境にやさしい施設であるために**
 - 環境目標の達成
 - 啓蒙啓発活動の充実

[組織統治・公正な事業慣行]

公正に事業を推進するために

すべてのお客さまの安全と安心のために

すべてのお客さまにとって、安全が当たり前であること、常に安心して札幌ドームを楽しんでいただくことを何よりも大切にしています。



- 東日本大震災を教訓に、地震対策を見直しています P.12
- 大規模イベント開催時の警備・救命体制を強化 P.13
- 4万人のお客さまの「食」の安全を守ります P.13
- 市民道民の財産「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継ぐために P.14

[中期経営計画におけるCSRへの取り組み課題]

- リスクマネジメントの確立
- 施設設備の維持更新および次期改修に向けた具体的な計画検討



東日本大震災を教訓に、地震対策を見直しています

2011年3月11日に発生した東日本大震災を教訓に、被害想定を拡大するなどより万全な地震対策や防災体制の整備に取り組み、さらなる対策強化のための検討も進めています。

地震対策

地震発生時の迅速な対応のために 専用の地震監視警報システムの導入へ

大規模地震対策を検討するため 他スタジアムの取り組みなどを視察

東日本大震災を教訓に、より万全な大規模地震対策を検討。「日本製紙クリネックススタジアム宮城」での取り組みを視察し、お客さまの安全確保や避難誘導に役立つ地震監視警報システム導入の検討を進めました。

地震監視警報システムの導入を決定 運用方法についての協議も進めています

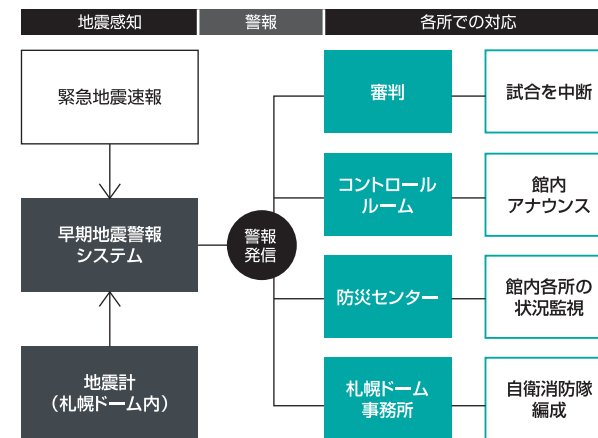
札幌ドーム専用の地震監視警報システムの導入を決定し、2012年3月30日よりテスト稼働を開始しました。気象庁が配信する緊急地震速報とともに、札幌ドーム内に設置した地震計で地震初期のP波*を高感度でとらえ警報を発信。数秒のわずかな猶予時間であっても大きな揺れに備えて身を守るなどの行動をとることができ、被害の軽減が期待されます。サッカーや野球などの試合中は中止する場合もあるため、今後の運用方法について、主な主催者さまと協議を進めています。



●無線通信受信器 シルウオッチ
野球・サッカーの審判も腕につけ、試合中の地震に備えます。

*P波:地震発生時に最初に伝わる小さな揺れ。この後、主要動と呼ばれる大きな揺れが発生させるS波が到達。

●地震監視警報システムによる大規模地震への対応体制(イメージ図)



■札幌ドームの防災システム

札幌ドームは優れた総合消防防災システム、設備・機器を竣工時より完備し、システムを適切に運用しながら、お客さまの安全を第一に考えた防災体制を整えています。全館に火災通報設備、非常照明設備、初期消火設備としてフィールド内・スタンド内・コンコースなどに消火器や屋内消火栓・放水銃を設置し、消防用水を4カ所に確保。非常電源設備としてディーゼルエンジン発電機も設置しています。

放水銃

優良消防防災システム「消防庁長官賞」を受賞しています。防災センターに設置された総合操作盤を中心とする総合消防防災システムへの評価などで、竣工時に優良消防防災システム「消防庁長官賞」を受賞しています。

防災体制

防火設備の点検のほか、初期消火や避難誘導などの防火・防災訓練を実施

防火設備の点検を日常的に実施するとともに、火災発生を想定した防火訓練と、大規模地震を想定した総合防災訓練を行っています。北海道フットボールクラブさまや北海道日本ハムファイターズさま、委託事業者さまと合同で、初期消火や応急救護、避難誘導などの訓練に取り組み、万が一の事態に備えています。



2011年度は防火訓練と総合防災訓練を各1回実施しました。

情報を整理し、適切な指示を出すため 災害時記録用ホワイトボードを改良

札幌ドームは施設規模が大きいので、災害時には今どこで何が起きているかを把握することが特に重要なことから、より情報を整理して記録できるようにホワイトボードを改良。防災担当者が検討を重ね、階層別の図面や被害状況の記録などレイアウトを工夫。状況がひと目で分かり、災害対策の本部からより適切に指示を出せるようになりました。



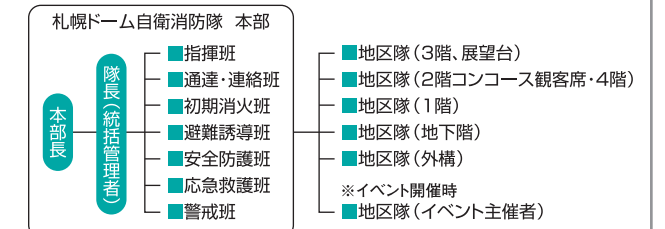
ホワイトボードは災害時に本部が置かれる防災センターに用意。防火・防災訓練でも活用しています。

無線機の更新など防災設備を強化しました

火災や地震、事故などに備え防災設備を強化。無線機の更新にあたっては、これまでよりも多チャンネルのデジタル無線機を選定したほか、非常用小型発電機などを導入しました。



●自衛消防組織



2011年度は、防火管理者講習を34名、防災管理者講習を5名が受講。さらに、自衛消防隊本部の統轄管理者および班長に必要な自衛消防業務新規講習は、全社員の約3分の1にあたる22名が受講しています。

大規模イベント開催時の警備・救命体制を強化

札幌ドームのすべてのお客さまにとっての安全を最優先に考え、関係機関とも協力して警備体制を強化。救命処置などにあたる体制も整え、お客さまに安心して楽しんでいただける環境整備に力を入れています。

警備体制

防ぐことができるリスクは事前に回避 お客さまの安全を最優先に考えています

センサーや遠隔監視システムなどを用いた機械警備と、警備員による巡回警備を実施。イベント開催時には、警察・消防・主催者さまと連携してお客さまの安全を確保しています。



救命体制

大規模イベント開催時には 医務室を用意しています

大規模イベント開催時には、館内に医務室を用意し、医師や看護師の手配を主催者さまに依頼しています。そのほかのイベントでも応急処置ができる体制をとっています。



お客さま、主催者さま、警備会社さまと連携して 人命救助に貢献。札幌市豊平消防署さまより 感謝状を授与されました

2011年10月8日の北海道日本ハムファイターズ戦終了後、駐車場で体調不良となったお客さまに、その場に居合わせた別のお客さまによって適切な心肺蘇生と札幌ドームに設置されたAEDによる蘇生処置が行われました。その後、ドクターヘリによる救急搬送に伴い、主催者さま、警備会社さま、当社が連携して対応。皆さまのご協力により人命救助を行うことができ、さらなる体制強化への意識も高められました。

●当日の流れ



警備本部・警備スタッフが連携し、ヘリポート周辺の安全確保に向けて、体調不良となったお客さまをはじめ駐車場で歩行されているお客さまの安全や駐車場から退出される車両の整理などに対応。警備本部からの指示により、駐車場の警備スタッフだけではなく、館内や周辺道路警備スタッフも連携して対応にあたりました。

●札幌ドームのAED設置箇所(8箇所)



2011年12月には、札幌市豊平消防署長より救命の貢献に貢献したとして、札幌ドームが代表して感謝状を授与されました。

4万人のお客さまの「食」の安全を守ります

保健所や民間の衛生機関とも連携し、札幌ドーム内で販売する飲食物の衛生管理を行っています。飲食事業者さまとともに、おいしさと衛生面の両立を図っています。

飲食物の衛生管理について

衛生管理など重点事項を「マイルール」として徹底

札幌市と「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を締結している「札幌ドーム飲食事業者協議会」は、重点的に取り組む4つのマイルールを策定。各会員事業者さまが協調してマイルールの徹底を図り、「食」のさらなる安全を目指しています。



売店厨房の拭き取り検査や清掃点検を年2回、抜き打ちで実施。衛生講習会を開いて結果を全社で共有し、改善を図りました。



チェック表を活用して食材の温度管理を徹底し、各営業日に賞味期限・消費期限を確認。提供前の異物混入の目視確認も徹底。

札幌ドーム飲食事業者協議会マイルール

- 会員各社は、5S(整理、整頓、清潔、清掃、躰)を徹底し売店厨房等の良好な環境の保持に努めます。
- 会員各社は、食材の適切な温度管理や、異物混入を防ぐための点検を徹底します。
- 会員各社は、従業員健康意識向上と徹底に努めます。
- 会員各社は、札幌ドームに到着するお客さまに安心していただける「安全」な商品の提供とサービスの向上に努めます。

※マイルールの実施例はP.20にも掲載しております。

「さっぽろ食の安全・安心推進協定」は、札幌市が、「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指して2009年6月に創設した制度で、札幌市内の生産者・食品事業者・食品関連団体が対象となります。本協定を締結した事業者・団体等は、食の安全・安心に関して積極的かつ自主的に取り組んでいることの中から、重点的に取り組んでいく事項を「マイルール」として定め、消費者に公開するとともに、年度毎の取組結果を市長に報告します。

市民道民の財産「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継ぐために

市民道民の財産である「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継いでいくために、建物・設備の維持保全に努めているほか、来場者サービス向上や安全対策を目的とした改良工事等を行っています。

建物・設備の維持保全

お客さまの安全を最優先として、日常より建物・設備の点検を実施しています。設備の耐久年数や使用頻度を考慮し、必要な修繕や設備更新を行って建物・設備の維持保全に努めています。私たちは、市民道民の財産である「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継いでいくことも重要な使命だと考えています。

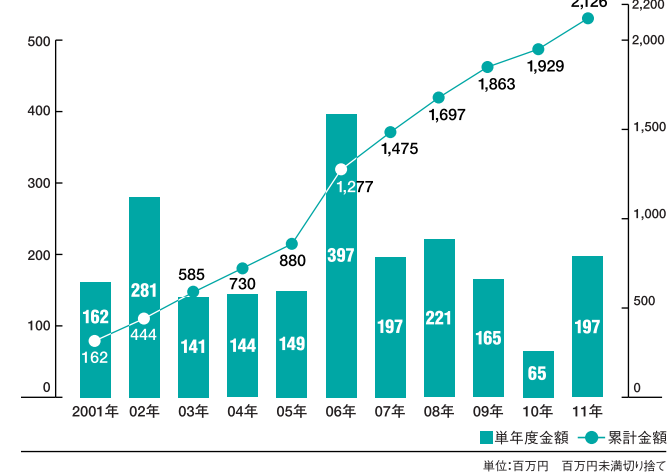


【2011年度の主な修繕・設備更新】

- 消防設備: ●泡消火設備アラーム弁・放水銃火災検出器オーバーホール ●消防設備不凍液交換 等
- 発電設備: ●常用発電機・非常用発電機整備 等
- 省エネ設備: ●エコパイロット分解清掃 等
- その他: ●監視カメラ部品交換 ●厨房排気ダクト清掃 等

来場者サービス向上のための改良工事や 将来に備えた積立も行っています

●改良工事等の金額

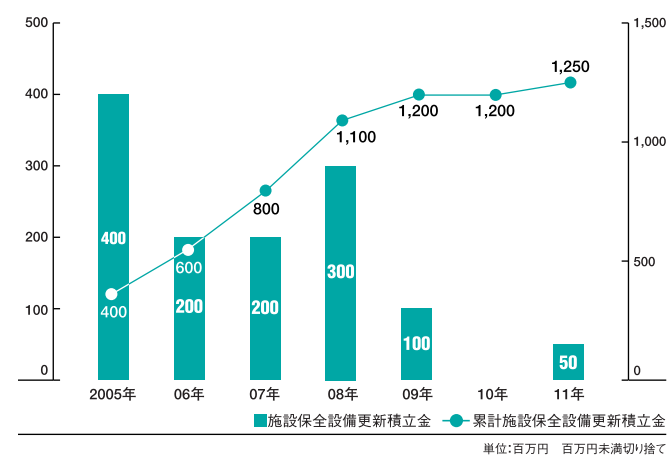


お客さまにより快適に札幌ドームをご利用いただくための改良工事等について、施設所有者である札幌市と協議の上、当社が札幌市に代わって実施しています。

【2011年度の主な改良工事等】

- 来場者サービス: ●トイレ洋式化 ※詳しくは、P.24をご覧ください。
 - 1階コンコース喫煙室売店化
 - スタンド席カップホルダー整備
 - 「バス停口」融雪ゴムマット敷設
 - 主催者サービス: ●バルコニーシート改修
 - フットサル用ラインテープ購入
 - 安全対策: ●地震監視警報システム導入 ※詳しくは、P.12をご覧ください。
 - 地域振興無線設備更新
 - 地上波放送デジタル化対応工事
- ※お客さまからのご要望による改善例は、P.24をご覧ください。

●施設保全設備更新積立金の推移



今後必要となる施設設備の更新・維持保全に向けて、利益の大部分を「施設保全設備更新積立金」として積み立てています。

良好なプレー環境の確保を目指し 人工芝の全面更新を決定

北海道日本ハムファイターズの選手の皆さまに良好なプレー環境をご提供し続けるため、人工芝の全面更新を計画。2013年シーズンに向けて更新できるよう、調査・研究を進めています。



毎日の清掃に加えて特別清掃を実施しました

清潔で気持ちの良い空間をお客さまに提供できるよう、毎日の清掃を適切に行っています。2011年度はこれに加えて、スタンド客席の全脚部や高所にある鉄骨部分の拭き掃除など、細部にまで至る特別清掃を実施しました。

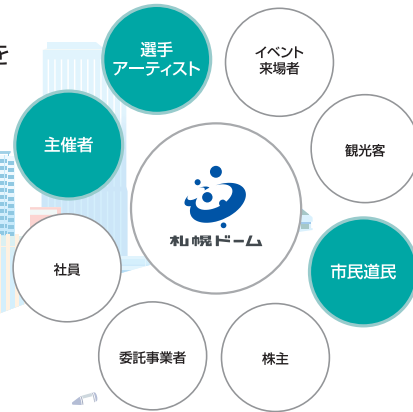


- 特別清掃箇所
- スタンド客席脚部
 - エレベーター内部
 - 鉄骨 等



最高の舞台であるために

札幌ドームは、スポーツをはじめ展示会やコンサートなどのさまざまなイベントを円滑に開催し、すべてのお客さまの夢と感動を実現するため、最高の舞台を常にご用意しています。



最高の舞台をつくるために …… P.16
札幌ドームで活躍する2つのプロチームとともに …… P.17

【中期経営計画におけるCSRへの取り組み課題】

- 多目的ドームとしての可能性の拡大
- コンサドーレ札幌・北海道日本ハムファイターズとの連携



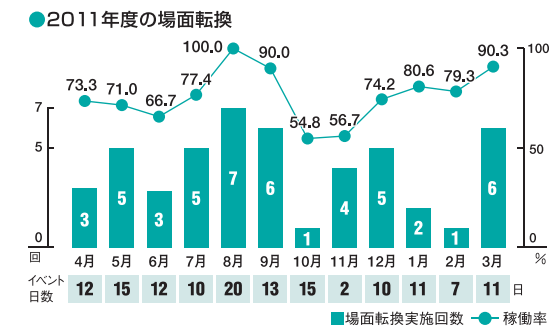
最高の舞台をつくるために

トップアスリートやアーティストをはじめ、ご来場いただくすべての皆さまにご満足いただけるように、札幌ドームは最高の舞台を提供するためのさまざまな努力を続けています。

多目的ドームとして

多様なイベントスケジュールに対応し場面転換作業を実施

札幌ドームの多目的利用を可能にしているのは、サッカー、野球、コンサートなど目的に応じたモードへのアリーナの転換作業です。2011年度は東日本大震災に伴う大幅な予定変更があったため、場面転換のスケジュールが過密になりましたが、主催者さまの要望に対応できるように調整を重ね、計48回の場面転換を安全・確実に実施しました。



当日の実施イベント	イベント終了後の場面転換
4 [木] 北海道日本ハム戦	野球→イベント
5 [金] コンベンション	
6 [土] コンベンション	
7 [日] コンベンション	イベント→野球
8 [月] 軟式野球大会 (プロサッカー練習)	野球→サッカー
9 [火] キリンチャレンジカップ	
10 [水] キリンチャレンジカップ	
11 [木] -	サッカー→野球
12 [金] 北海道日本ハム戦	

プロサッカー

Jリーグや日本代表戦などに備え 芝生の管理・整備に万全を期しました

ホヴァリングサッカーステージの移動システムや芝生の管理などを徹底。特に2011年8月は、Jリーグや日本代表によるキリンチャレンジカップやU-22日本代表の国際親善試合も開催されたため、芝生のメンテナンスに万全を期しました。



プロ野球

過去最高の試合数の中でも最高のパフォーマンスを発揮できるプレー環境に

チャリティーマッチやクライマックスシリーズも開催されたため、2011年度のプロ野球試合数は過去最高となりました。すべての試合において選手が最高のパフォーマンスを発揮できるように、質の高いプレー環境を維持しています。



その他のスポーツイベント

アリーナにジャンプ台を設置し「トヨタ・ビッグ・エア」を初開催

世界を代表する選手が技を競うスノーボードの国際大会「第16回トヨタ・ビッグ・エアin札幌ドーム」を2012年2月11日・12日に開催しました。屋内アリーナに大量の雪を運び入れ、ジャンプ台を設置して会場を設営。スポーツイベントの新たな可能性を広げました。



11tトラック80台分の雪を運んで高さ36m、全長130m、最大斜度45度のジャンプ台を設営。雪が解けないようムービングウォール（開口部）を開放して冷気を入れ、館内の気温管理や消防設備の凍結を防ぐ養生などを行いながら作業を進めました。



展示会・コンサート

新たなイベントやコンサートなどをお楽しみいただきました

2011年度は「札幌モーターショー2012」「ワンピース ドームツアー」など初開催の展示会のほか、小田和正、関ジャニ∞などコンサートも数多く実施。これまで蓄積したノウハウをもとに、多様なイベントの開催に対応しました。



- 札幌モーターショー2012 北海道では初めての開催で、3日間で12万5195人が来場。
- ワンピース ドームツアー 大人気のアニメをテーマにした新たな来場者層を開拓。

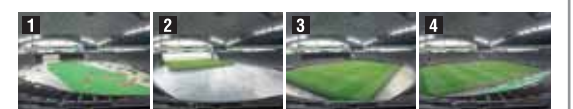


各イベントは広報紙や地下鉄広告などで告知

各開催イベントについては、広報紙「札幌ドームイベントニュース」や地下鉄広告などで告知。より多くのお客さまにご来場いただくための告知活動を積極的に行っています。

多目的利用を可能にする世界初のシステムを採用

天然芝のホヴァリングサッカーステージが移動。野球とサッカーの場面転換を行う世界初のシステムが、札幌ドームの多目的利用を可能にしています。



- 1 野球フィールドの人工芝を巻き取り、開口部を開放、開閉式可動席を収納します。
- 2 ホヴァリングサッカーステージの移動と運動して旋回式可動席も移動させます。
- 3 ステージがクローズドアリーナに到着後、旋回式可動席とともに90度回転し、野球の内野席とサッカーのメインスタンドを一致させます。
- 4 開口部を閉じ、開閉式可動席を復元してサッカーモードへの転換が完了です。

札幌ドームで活躍する2つのプロチームとともに

「コンサドーレ札幌」と「北海道日本ハムファイターズ」。市民道民に愛される2つのプロチームを支えるとともに、サポーターやファンの皆さまにより楽しんでいただけるように、さまざまなかたちで協力しています。

コンサドーレ札幌支援

より多くのお客さまに観戦いただき、楽しんでいただくための協力を行っています

コンサドーレ札幌のホームスタジアムとして、より多くのお客さまにご来場いただくためのお手伝いをしています。札幌ドーム以外の会場のホームゲームチケット販売も支援しています。

【2011年度の主な支援項目】



●メモリアルコーナーへの協力
次回の対戦チームのユニフォームなどを展示しています。

●キックオフイベント実施支援
●屋外サッカー練習場の貸し出し

●ポケットスケジュールや館内柱巻き装飾などの制作協力
試合日程や選手紹介などを掲載したポケットスケジュールの制作に協力し、お客さまなどに配布。試合開催時の柱など館内装飾の制作にも協力しています。



●「コンサパーク」への協力
サポーターの皆さまが楽しみにしている屋外テラスで開催するイベント「コンサパーク」に協力。

●チケット販売支援
札幌厚別公園競技場開催および地方開催試合のチケットについても札幌ドームメンバーズクラブ会報紙「HOME PRESS」などで告知し、販売を行っています。

●最終戦招待企画
J1昇格をかけた最終戦を盛り上げるために、新聞やテレビ、ラジオなどを通じて希望者を募り、試合にご招待しました。



コンサドーレ札幌

1996年、札幌に誕生。開業時から札幌ドームをホームスタジアムとし、Jリーグの中でも特に熱いサポーターとともに熱戦を展開。サポーターの皆さまには、毎年、ボランティアとしてサッカーシーズンの除雪作業に協力をいただいています。

札幌ドームは、チームスポンサーとして様々な協力をしています。

北海道日本ハムファイターズ支援

ファンの皆さまとチームの交流を深める機会や練習環境の整備などで協力を行っています

北海道日本ハムファイターズのファンの皆さまに、さらに観戦を楽しんでいただけるよう札幌ドームとして支援。練習環境の整備などの面でも協力を行っています。

【2011年度の主な支援項目】



●花火大会への協力
札幌ドームの敷地内で初めて開催した花火大会に協力。諸官庁との調整なども行いました。

●ダルビッシュ選手退団記者会見
テキサス・レンジャーズ移籍に伴う記者会見の会場に札幌ドームを提供しました。

●ファンフェスティバルへの協力
シーズンを締めくくり、ファンの皆さまに感謝を伝える「ファンフェスティバル」に協力しています。

●テラスイベントへの協力
屋外テラスを開放してお楽しみいただく「北海道祭り」などのイベント開催に協力しています。



●練習協力
試合以外の札幌ドームでの練習日をできるだけ要望に応えられるよう調整。マウンドの状態など練習前の整備も念入りに行い、チームのために良好な練習環境を提供しています。



北海道日本ハムファイターズ
2004年に本拠地を北海道へ移転して以来、3度のリーグ優勝に輝くなど、ファンを魅了しています。地域密着の理念に基づいたさまざまなファンサービスにより道民球団として浸透。ホームでのあたたかな応援スタイルも定着しています。

札幌ドームは、出資企業として様々な協力をしています。

札幌ドームMVP賞

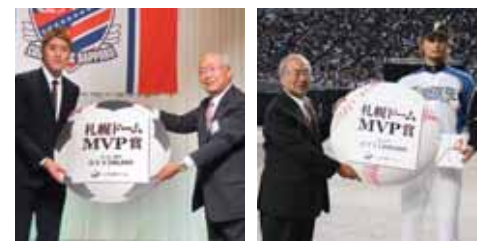
2011年度に最も活躍した選手に「札幌ドームMVP賞」を贈呈

札幌ドームは2004年度から毎年、その年に札幌ドームで最も活躍した選手に「札幌ドームMVP賞」を贈っています。コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズから各1名を選び、歴代の受賞選手の記念プレートを札幌ドーム内西ゲート前に設置しています。



2009年度からはホームページでファン投票を行い、結果をもとに受賞選手を決定しています。

2011年度はコンサドーレ札幌のイ・ホスン選手と北海道日本ハムファイターズのダルビッシュ有選手が受賞。



市民道民に愛される2つのプロチームの「地域への思い」から学び、これからの取り組みに活かしてまいります

北海道の「元気の源」になることを目標にホームタウン活動に力を入れています

子供たちがコンサドーレと親しむ機会を豊富に提供

Jリーグではクラブの本拠地・ホームタウンで地域社会と一体となったクラブづくりを行いながら、サッカーをはじめとするスポーツの普及・振興に努めています。私たちも、札幌を中心に道内各地でホームタウン活動に力を入れ、活動を通じて勝敗に関係なく試合を楽しみ、応援してくれる方たちをさらに開拓したいと考えています。例えば、子供の頃からコンサドーレに親しんでもらうため



開幕戦を前に、芝を傷つけないよう除雪の仕上げ作業はボランティアの皆さまの手で行われています。

にクラブマスコットのドーレくんによる幼稚園・保育園訪問、選手たちが出向いて交流を図る学校訪問などを実施。子供たちが大歓迎してくれるため、選手も喜んで参加しています。ほかにも、サッカー教室、登山やスキーなどを楽しむスポーツスクール、食事とスポーツの大切さを啓発する食育教室など、幅広い活動に取り組んでいます。

より地域の皆さまに愛される市民クラブチームを目指して

札幌ドームがかげがえのないホームスタジアムであることを強く感じるのは、毎年、開幕前に多くの皆さまがボランティアで参加して下さるホヴァリングサッカーシーズンの除雪



作業。今や、これがないと開幕気分にならないと言うサポーターもいるほどです。懸命な作業で真っ白だったピッチが緑色に変わるのを見ると、チームが愛されていることを実感します。コンサドーレは市民クラブチームですから、地域の皆さまと一緒に盛り上げてくれば成り立ちません。札幌ドームをはじめ皆さまにご協力いただきながら、北海道の元気の源になることを目標にクラブづくりを進め、コンサドーレを通じて地元を誇りに思ってくれることを願っています。



株式会社北海道フットボールクラブ 広報事業部 部長 熱海 寿 さん

道民球団としての誇りを持ち、皆さまと一緒に地域を盛り上げていきたいと思っています

ファンの方たちの目線になり、意見に耳を傾けることを徹底

私たちコミュニティグループは、地元町内会をはじめ豊平区や札幌市、さらには全道各地にある北海道日本ハムファイターズ後援会の皆さまなどとの窓口役になり、イベントや意見交換などの機会を通じてファイターズのさまざまな思いを伝える役割を担っています。各地域を回ってコミュニケーションを深め、ファイターズというキーワードで多くの方たちとつながりを持てる



ご当地グルメやあんどんなどで盛り上がった「北海道祭り」にも後援会や町内会の皆さまが協力。

のは本当にうれしいことです。よりお客さまに喜んでいただくためのイベントや企画は、ファンの方たちの目線になり、ご意見に耳を傾けることがアイデアの源泉。試合後、ゲートに立って最後のお客さままでお見送りし、目を見て挨拶していると、その日の感触が分かり、ご意見もいただけます。勝っても負けても「また明日ね」と声をかけてもらえると、ファイターズが生活の一部になっているようで、これがスポーツコミュニティの原点だと強く感じます。

「スポーツのまち」豊平区からスポーツの魅力の発信を

豊平区は、札幌ドームを中心に、サッカーやバスケットボールなどのプロ



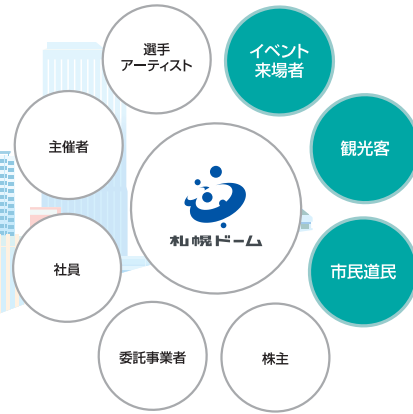
チームも活躍しているスポーツのまち。今後は、野球だけでなくスポーツという大きなくくりで、「みる」のはもちろん「する」ことも、子供からお年寄りまでがもっと楽しめるようにできればと思います。札幌ドームは、大きな可能性のある施設。札幌ドームもファイターズも、お客さまのためという思いは同じですから、一緒になって盛り上げ、地域、北海道も巻き込んでいきたいですね。「北海道プライド」を掲げる道民球団として誇りを胸に、常に新しいことを求める努力を続けていきます。



株式会社北海道日本ハムファイターズ コミュニティグループ 部長 荒井 昭吾 さん

より楽しく、より快適にご利用いただくために

ご来場いただくすべてのお客さまに、札幌ドームをより楽しく、より快適にご利用いただくために、飲食・物販事業をはじめ自主イベントの開催や施設の市民利用などの充実を図っています。



- スタジアムグルメを思う存分お楽しみいただけるように … P.20
- ショッピングや観光をお楽しみいただくために …… P.21
- 新たな夢と感動、楽しさの提供を目指して …… P.21
- 市民の皆さまに、より多くご利用いただくために …… P.22

【中期経営計画におけるCSRへの取り組み課題】

- 飲食・物販事業、自主イベントでの新たなサービス展開
- 市民利用サービスの充実



スタジアムグルメを思う存分お楽しみいただけるように

札幌ドームでイベントとともにスタジアムグルメを思う存分お楽しみいただけるように、メニューの充実はもちろんサービス面の強化などにも力を入れています。

飲食事業

お客さまにとって、一生の思い出に残るようなサービスを

札幌ドームを訪れるお客さまに、少しでも気持ち良く飲食を楽しんでいただけるように、アルバイトを含めスタッフの衛生意識の向上、サービスの強化に取り組みました。営業日ごとにスタッフの健康状態や身だしなみの確認を徹底したほか、アルバイトスタッフを対象にした衛生講習会やサービス講習会なども実施しました。



P.13「札幌ドーム飲食事業者協議会マイルール」に基づき、身だしなみ・手洗いのハンドブック製作や衛生・サービスの講習会を行いました。



フランチャイズチームの応援弁当・メニューを充実

コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの応援弁当や、コンサドーレ札幌戦開催時のみ販売する限定フードメニューなどの充実を図っています。



- フランチャイズチーム応援弁当
コンサドーレ必勝弁当は2種類。ファイターズ弁当は監督や選手の名前を付けたバラエティ豊かな内容です。

ファンの皆さまに感謝を込めビール半額デーを実施

日頃の感謝の気持ちを込め、ファンの皆さまにフランチャイズチームの応援をさらに楽しんでいただくためにビール半額デーを実施。2011年度はコンサドーレ札幌戦1日、北海道日本ハムファイターズ戦で2日間行いました。



地産地消に取り組み、道産食材をふだんに使用したメニューを強化

農林水産省が推進する食料自給率向上に向けた国民運動「フード・アクション・ニッポン」の推進パートナーとして地産地消に取り組み、北海道の食材を使用したメニューを強化しています。



- 「フード・アクション・ニッポンアワード2011」コミュニケーション・啓発部門で入賞
札幌ドームが取り組む「美味しく、地球にやさしい「地産地消」弁当の開発」が、コミュニケーション・啓発部門で入賞。「地産地消」をテーマに、北海道の食材をふだんに使用したオリジナルの巻き寿司弁当の開発が評価されました。



札幌ドーム限定オリジナルメニューのラインアップを広げています

各飲食事業者さまのご協力により、札幌ドーム限定オリジナルメニューを積極的に開発。お客さまにご満足いただくための新たなメニューづくりに力を入れています。



- 「Jリーグスタジアムグルメ11(イレブン)」で海鮮丼が「ベストイレブン」に選出
札幌ドームの「海鮮丼」が、Jリーグ公認ファンサイトJ's GOALでサポーターなどが選ぶ「2011Jリーグスタジアムグルメ11」のベストイレブンに選出されました。



安心して選んでいただくため弁当のアレルギー情報を発信

お客さまに安心して選んでいただくことができるように、札幌ドームで販売しているお弁当のPOPやパンフレットに食物アレルギーに関するそれぞれの情報を掲載。また、POPには食材についての情報も掲載しています。



POPやパンフレットのアレルギー情報は、食品衛生法で「特定原材料に準ずるもの」として規程されている18品目についても記載。



POP表面には、お客さまからのお問い合わせに対応できるよう、食材情報を掲載。

札幌ドーム館内では飲食店舗のほか 飲食売店・ワゴン売店が営業しています

- 飲食店舗(通年営業) ……2ヶ所
- 飲食売店(イベント時のみ) ……22ヶ所
- ワゴン売店(イベント時のみ) ……13ヶ所
- その他お弁当ワゴン等(イベント時のみ)



「ルナ・クレープ」がオープン

2012年3月にクレープ専門店がオープン。片手で食べられる手軽さが喜ばれています。



札幌ドームのCSR
すべてのお客さまのために
地域社会と共生
公正に事業を推進するため
社員と共生
環境にやさしい施設を目指して

ショッピングや観光をお楽しみいただくために

ご来場いただくお客さまに、ショッピングや観光の面からも札幌ドームを十分に楽しんでいただけるように、新たな魅力づくりに取り組んでいます。

物販事業

札幌ドームならではの コラボレーショングッズを販売

札幌ドームならではのコラボレーショングッズを開発。2011年度はコンサドーレ札幌設立15周年と札幌ドーム開業10周年を記念し、ドレクと札幌ドームをモチーフにしたキーホルダーなどを販売しました。



グッズ販売スタッフの ユニフォームをリニューアル

お客さまの印象アップを図るために、グッズ店舗・ワゴンのスタッフ用ユニフォームをリニューアル。スタッフ一同気持ちも新たにお客さまをお迎えしています。



■札幌ドーム館内では
グッズ店舗とグッズワゴンが
営業しています

- グッズ店舗(通年営業)…1ヶ所
- その他グッズワゴン等(イベント時のみ)



観光事業

観光の拠点としてもお客さまを迎えています

観光に訪れるお客さまにもより楽しんでいただけるように、2011年度は3階壁面の装飾を札幌ドームの紹介にリニューアル。また、2011年度に開催されたキリンチャレンジカップや小田和正コンサートの記念品を新たに展示しました。



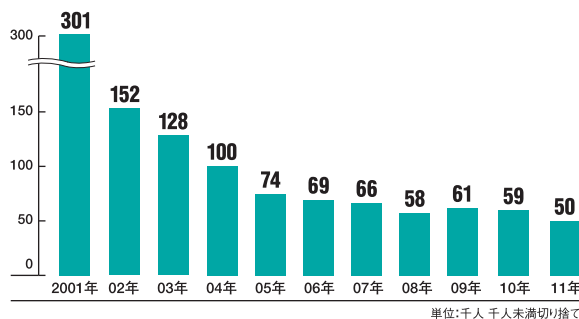
●展望台展示物のリニューアル

■札幌ドームには国内初のドーム展望台があり、
ドームの裏側をご紹介するツアーも実施しています

高さ53mの展望台からはアリーナ全景と札幌市街の大パノラマを楽しめます。専属アテンダントが案内するドームツアーも人気です。



●観光(ドームツアー・展望台)来場者数の推移



●3F壁面装飾リニューアル



新たな夢と感動、楽しさの提供を目指して

札幌ドームの新たな魅力を発信し、さまざまなお客さまにさらに楽しんでいただけるように、当社が企画・運営を行う自主イベントの開催にも取り組んでいます。

自主イベントの開催

北ガスグループ 6時間リレーマラソン

札幌ドーム開業10周年記念事業として、マラソンをテーマとした参加型イベントを立ち上げました。6時間で特設コースをどれだけ周回できるかチームで競う競技などを行い、参加者を含め14,145人がご来場くださいました。



ふわふわアドベンチャー

多くの子供たちでにぎわう冬休み期間恒例のイベント。大型エア遊具に新たなアトラクションも加わりました。



展望台コンサート

2011年度は7月にジャズ、12月に道内アーティスト8組による演奏をお楽しみいただきました。



市民の皆さまに、より多くご利用いただくために

札幌ドームの屋内アリーナやサッカー練習場などを市民の皆さまにもご利用いただいています。また、地域の皆さまの健康のお役に立てるようにトレーニングルームも運営しています。

屋外施設

Jリーグ公式戦や日本代表戦が行われる ホヴァリングサッカーステージの一般利用を開始しました

天然芝と人工芝の屋外サッカー練習場に加えて、2011年度からは移動式のホヴァリングサッカーステージについても、屋外に出ている状態で一般の皆さまにご利用いただけるようにいたしました。イベント開催のスケジュールや天然芝の保護などを考慮した上で利用日を設定し、ご利用の申し込みを受け付けています。



Jリーグ公式戦やサッカー日本代表の試合が行われる天然芝のピッチで、サッカーをお楽しみいただけます。

屋内施設

屋内アリーナのフルピッチ上でサッカーを お楽しみいただける機会を新たに設けました

2011年度から、屋内アリーナでフルピッチのサッカー利用ができる機会を設けました。これまで屋内アリーナは草野球利用のみでしたが、野球用の人工芝はそのままだにピッチャーズマウンドと各塁ベースを床下に収納し、サッカーコートスペースを確保。また、草野球利用についても、利用しやすいように料金や人数などを見直しました。



季節や天候に左右されない屋内アリーナのサッカー利用も可能に。

屋外サッカー練習場の 安全対策を講じました

屋外サッカー練習場に用意している一般やジュニア用などのゴールを使用する際は、転倒防止のためのウエイト(砂袋)を必ず設置することなど、安全対策としてのルールを徹底。また、練習場への階段の滑り止め工事や近くにある池にネットを張るなど、ご利用される皆さまの安全のための整備も行いました。



コンコースを一般ランナーに開放 「札幌ドーム NIGHT RUN」

寒さや雪の心配がない中で、市民の皆さまに快適にランニングを楽しんでいただこうと、札幌ドーム内を周回できるコンコースをランニングコースとして一般開放する「札幌ドーム NIGHT RUN」を新たに実施。非イベント日を中心に、2011年度は2月27日から13日間実施し、延べ567人のお客さまにご利用いただきました。

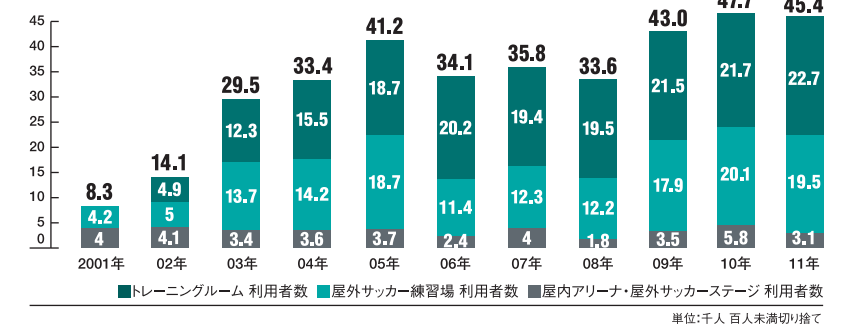


トレーニングルーム

各種トレーニングに対応できるマシンをそろえ、トレーナーのアドバイスも受けられることから、地域の皆さまの体力づくりの場として浸透。新たにご利用いただくきっかけづくりなどのため無料開放デーも設けています。



●市民利用 利用者数の推移



■札幌ドームでは、屋内アリーナや屋外サッカー練習場を、市民の皆さまにご利用いただいております

市民の皆さまにご利用いただけるのは、屋内アリーナの草野球・サッカー利用。屋外では、サッカー練習場の天然芝(1面)・人工芝(1面)に加え、天然芝のホヴァリングサッカーステージもご利用いただけます。一般利用を促進するため、サービスの拡充や活用方法の提案なども行っています。



活用の幅を積極的に広げ、さまざまな用途にご利用いただいています

屋外サッカー練習場は、2011年度には新たにグラウンドゴルフや全国高校クイズ選手権の会場としても利用されました。



お客さまの声をかたちに

お客さまの声は、私たち札幌ドームにとって貴重な財産です。私たちにお届けいただいた声を少しでもかたちにできるように、学ぶ姿勢を持って、真摯に耳を傾けています。



2011年度、お客さまの声がかたちとなりました……P.24

【中期経営計画におけるCSRへの取り組み課題】

- ホスピタリティの具体化、更なる充実



お寄せいただいたお客さまの声を生かすために

コールセンター、ホームページ、館内のコミュニケーションコーナーに寄せられた貴重なご意見は、電子化して経営層を含めた全社員に配信。すべてデータベース化し、十分な検討が必要なご意見については、委員会を開催して改善に向けた議論を重ねています。すぐに解決できないご要望などについては、中長期的な課題として共有し、継続的な調査・検討を行っています。



より幅広くご意見をいただくためアンケートも実施

幅広いお客さまからご意見をいただくために、イベントにご来場・ご参加いただいた皆さまにアンケートをお願いしています。イベントの内容や運営、施設・設備などさまざまな面について頂戴したご意見は、改善に向けての参考にさせていただきます。

下記のイベントにご来場・ご参加いただいたお客さまにご協力いただきました。

- 自主イベント・北ガスグループ 6時間リレーマラソン・展望台コンサート・ふわふわアドベンチャー
- 小学生サッカー教室
- 札幌ドームNIGHT RUN
- 札幌ドーム みらいシート

2011年度、お客さまの声がかたちとなりました

コールセンター、ホームページ、館内のコミュニケーションコーナーなどを通じてお寄せいただいたお客さまからの声をふまえ、サービスや施設・設備の改善、利便性向上に積極的に取り組んでいます。

2011年度の改善事例

融雪ゴムマットを敷設し、「バス停口」から通年通行できるようにしました

冬期間はイベント開催日を除いて閉鎖していたためご不便をおかけしていた歩行者入口「バス停口」を、通年通行できるように改善。館内まで安全に通行いただけるよう融雪ゴムマットを敷設しました。



外野側(バックスタンド側)にベビーカー置き場を増設しました

ベビーカー置き場を増やしてほしいという声にお応えし、2階コンコース東ゲート側に2カ所増設。外野側(バックスタンド側)の座席のそばまでベビーカーを持ち込んでいただけるようになりました。



全スタンド席でカップホルダーを利用できるようにしました

スタンド席のうち最前列など734席については、開業以来、カップホルダーがなくご迷惑をおかけしておりましたが、座席と座席の間にホルダーを設置。全席でご利用いただけるようになりました。



試合中継を見られる大型テレビをトレーニングルーム内に設置

トレーニング中も試合を見たいという声にお応えし、トレーニングルームに大型テレビを設置。コンサドーレ札幌や北海道日本ハムファイターズ戦の中継を楽しみながらご利用いただけるようになりました。



敷地内の案内サインをより分かりやすく改良しました

敷地内の案内サインが分かりにくいという声にお応えし、敷地案内図の角度に合わせて矢印を表示するなどの改良を実施。また、案内サインの設置箇所も増設しました。



「お客さまの声をかたちに」の項目をホームページに設け改善事例などを紹介

ホームページ内の「社会と環境への取り組み」の中に、「お客さまの声をかたちに」の項目を設けました。お客さまからのご意見に対応する体制やご要望をふまえた主な改善事例などをご紹介します。



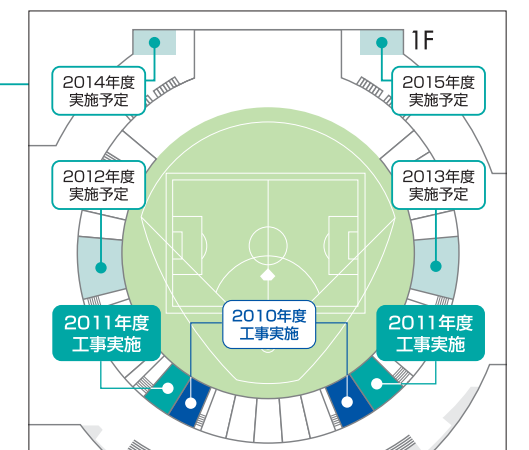
【その他の改善事例】お客さまの声を受けて、バックネットの視認性を高めるために全交換を実施。また、プレイヤーズビューシートの歩行による騒音を軽減するための工事などを実施しました。

中期的な改善事例

洋式トイレの割合を高める改修工事を中期的な計画に従って進めています

ご要望の多いトイレの洋式化推進については、他の公共施設の和式・洋式割合を調査するなどの検討をした結果、和式10%・洋式90%を目指す改修を決定しました。洋式トイレの方が和式よりもスペースを必要とするため、個数を減らさないようレイアウトを工夫。環境に配慮して擬音機も設置。中期的な計画に基づき、2010年度よりお客さまの利用頻度が高いトイレから改修を進めています。

- 改修による洋式トイレ割合の推移



地域とともに成長するために

市民道民の皆さま、地域の皆さまに親しまれる施設であるために、札幌ドームは地域社会に貢献する活動にも力を入れ、地域社会の一員としてともに成長していくことを目指しています。



地域社会のための取り組みに力を入れています…… P.26
 未来を担う子供たちのために…… P.27
 地域の皆さまのさまざまな活動をサポートしています…… P.28

【中期経営計画におけるCSRへの取り組み課題】

- 新規イベント誘致
- 地域貢献活動の積極的な推進



地域社会のための取り組みに力を入れています

地域社会の一員として、さまざまな事業を通じて地域に貢献していくことに力を入れています。また、2011年度は、東日本大震災の被災地復興に向けた支援活動にも取り組みました。

大型イベント開催による貢献

大型イベントの開催を通じて、地域経済の活性化に貢献しています

札幌ドームで開催するスポーツやコンサートをはじめとする大型イベントには、札幌市内はもちろん全道、全国各地からも多くのお客さまにご来場いただいています。これに伴い、お客さまには交通機関のほか飲食、宿泊施設などをご利用いただくことから、札幌ドームも地域経済活性化の一端を担う役割を果たしています。



2011年度 スポーツイベント		開催日数	スポーツイベント 総来場者数 2,210,525
コンサドーレ札幌戦	11日		
北海道日本ハムファイターズ戦	73日		
キリンチャレンジカップ2011 日本代表 VS 韓国代表	1日		
日本女子プロ野球2011公式戦 シンデレラシリーズ	1日		
第16回トヨタ・ビッグ・エア in 札幌ドーム	2日		
2011年度 コンサート		開催日数	コンサート 総来場者数 330,194
DREAMS COME TRUE WONDERLAND 2011	1日		
ARASHI LIVE TOUR "Beautiful World"	2日		
KAZUMASA ODA TOUR 2011	1日		
KANJANI∞五大ドームツアー EIGHT×EIGHTER	1日		
エアロスミス 札幌公演 2011	1日		
EXILE LIVE TOUR 2011 TOWER OF WISH	2日		
2011年度 コンベンション・その他イベント		開催日数	コンベンション・ その他 総来場者数 432,575
ワンピース ドームツアー	3日		
次世代ワールドホビーフェア' 11 Summer	1日		
札幌モーターショー2012	3日		
その他イベント	35日		
2011年度 イベント開催実績			計 138日 2,973,294

地域社会支援のための活動

北海道を代表するイベントに協賛しています

社会貢献の一環として、文化活動などの支援を実施。「YOSAKOIソーラン祭り」「さっぽろ雪まつり」など札幌市を代表するイベントに協賛しているほか、札幌交響楽団など文化団体への支援も行っています。

- さっぽろオータムフェスト
- ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo
- さっぽろ雪まつり
- カルチャーナイト
- 道新UHB花火大会
- 札幌交響楽団維持会員
- 北海道国際音楽交流協会 賛助会員

● YOSAKOIソーラン祭り



寄付活動

寄付活動を継続的に実施

「歳末たすけあい募金」への協力を2006年度から続けており、2011年度も自主イベントの収益金の一部を寄付。また、拾得物のうちお預かり期限が切れ、当社に権利が発生した現金は、赤い羽根共同募金や日本赤十字社に寄付しています。

東日本大震災復興支援のための活動にも取り組んでいます

北海道日本ハムファイターズ主催チャリティーマッチに協力

2011年4月2日・3日にプロ野球12球団チャリティーマッチ(北海道日本ハム vs 東北楽天)に協力しました。

札幌市「さぼーとほっと基金」と日本赤十字社へ寄付を実施

「さぼーとほっと基金」への寄付を通じて被災者支援活動を応援。館内で募った義援金募金は日本赤十字社へ寄付しました。

「心」リストバンドをグッズ☆ジャムで販売

収益を被災地の義援金に充てる「がんばろう日本応援プロジェクト」の「心」ロゴマーク入りリストバンドを販売。

被災者を札幌ドームの試合観戦に招待する札幌市の企画に協力しました

被災された方を札幌ドームの試合に招待する札幌市とコンサドーレ札幌の共同企画に賛同し、館内で使用できる札幌ドーム商品券を提供。また、札幌市の事業に協力し、北海道日本ハムファイターズ戦のチケットと応援グッズの提供も行いました。

- 5月4日(水・祝) コンサドーレ札幌 vs ザスバ草津
- 8月2日(火) 北海道日本ハムファイターズ vs 千葉ロッテマリーンズ

東北被災地域を応援できる印刷用紙を本誌「CSRレポート2012」に使用

本誌に「震災復興型カーボンオフセット印刷用紙」を使用することで、CO₂削減による地球温暖化防止、東北被災地域への寄付、さらに東北経済復興の応援をしています。

- 震災復興型カーボンオフセット印刷用紙
- 東北地方に工場を持つ製紙メーカーの紙にカーボンオフセットの仕組みを取り入れ、CO₂削減とともに東北経済復興の応援ができる用紙です。



みらいを担う子供たちのために

札幌ドームの試合観戦に招待する事業や教育に関連する支援活動などを通して、みらいを担う子供たちの健やかな成長を応援しています。

観戦招待事業「札幌ドーム みらいシート」

子供たちのスポーツへの関心を高めるために第2次事業をスタートいたしました

「札幌ドームみらいシート」は、「初めての札幌ドーム」をコンセプトに、札幌ドームで開催されるコンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの公式戦に札幌市内の小学校3年生とその保護者さまを招待するプロジェクト。子供たちがスポーツへの関心を高め、地域・学校・家族の絆が深まることを期待して各試合25組50名を抽選で招待。2008～2010年の3年間の第1次事業で208校7,300名に観戦いただきました。2011年3月からは第2次事業を開始し、69校2,128名を招待しました。



■第1次 札幌ドームみらいシート事業
ご招待実績(2008年～2010年)

・コンサドーレ戦 ……25試合
・ファイターズ戦 ……154試合
208校 計7,300名様

【特別ご招待】
・コンサドーレ戦 ……2試合
・ファイターズ戦 ……13試合
養護施設および
母子支援生活施設 200名様
市内公募 550名様

計8,050名様

子どもたちからのメッセージ

しょうくじあいが見れてうれしかった
です。サッカー始めようかなと思
い主にな。うれしかったです。

テレビでみるよりも、何倍も
たのしかったです。

みらいシートにお父さんとすわって、
せんすのホームランが見ることができたのと
自分のクラスか前同じクラスだった人と会えて
とても楽しかったです。

サッカーを見に行くのは初めてで
野球場の時と場所がちがって
おどろいた。



はじめは緊張してすごく楽しかった
またかぞくていきたいです
しょうたりに来てくれてありがとう
ございます。

友だちといっしょにおえんしてあせ
び、しょりになりましたとても楽し
かったです。またいきたいです。

保護者さまからのメッセージ

みらいシートでの観戦をきっかけに子供が「野球に
興味をもち今年から野球部に入る事になりました。
きっかけをつくってくれた札幌ドームには感謝です。

とても良い思い出ができました。ありがとうございました。
これからもスポーツイベントに足を運ぶ子供と
楽しい思い出をたくさん作ってほしいです。

児童養護施設・母子支援生活施設の皆さまに観戦チケットを贈呈しました

「札幌ドームみらいシート」事業の一環として、札幌市内の児童養護施設および母子支援生活施設の皆さまにみらいシートチケット80名分を贈呈。この事業により、札幌市から感謝状を授与されました。



ご招待した方たちから
手づくりのカードなどで、
うれしいお礼の言葉を
いただきました。



教育・文化支援

「札幌ドーム」をテーマにした小中学校の総合学習などに協力しています

札幌ドームは小中学校の総合学習や修学旅行などにもご活用いただいております。札幌ドームを学ぼうという取り組みに協力。子供たちから寄せられる多くの質問にお答えしています。

社員を大学に講師として派遣するなどさまざまな教育支援を行っています

札幌ドームは、ご要望に応じて社員を学校などへ講師として派遣。2011年度は、施設管理を担当する社員が札幌国際大学スポーツ人間学部スポーツビジネス学科で半年間、「スポーツ施設経営論」の講義を行うなどの教育支援を実施しました。

札幌ドームが培ったノウハウをもとに地元小学校の芝生化を支援しています

札幌市立羊丘小学校で、校庭の芝生の維持管理について当社社員がアドバイス。肥料散布機や芝刈り機の使用法、肥料散布のスケジュールなどを説明し、傷んだ箇所への対応や越冬方法なども指導しました。また、総合学習の一環として同小5年生が札幌ドームを訪れた際、ホヴァリングサッカーステージの芝生の体感など理解を深める協力を行いました。



札幌ドームが培ってきた芝生の維持管理に関するノウハウを札幌市立羊丘小学校の担当職員に伝え、校庭の芝生化の支援に取り組んでいます。

地域の皆さまのさまざまな活動をサポートしています

札幌ドームは、地域により深く根差した施設になることを目指し、地域に密着したスポーツや文化などの幅広い活動をさまざまなかたちでサポートしています。

アマチュアスポーツ支援

プロ選手が活躍するあこがれの舞台で、子供たちの夢を育みます

札幌市との協定に基づき、アマチュアスポーツ大会の開催を支援しているほか、当社独自の支援も行っています。大会の運営にあたっては、開催規模を考慮しながら主催者さまと打ち合わせを行い、さまざまな面からサポートしています。

コンサドーレカップ 全道市町村サッカーフェスティバル

全世代対象の大規模なフットサル大会を運営。一度に11面取れる屋内施設は道内ではほかになく、より快適な環境でプレーできるようにラインテープの更新なども行いました。



FIGHTERS ジュニア王座決定戦

札幌ドームでの決勝トーナメントを目指して、全道各地の野球少年たちが参加。ジュニア用のホームランゾーンやマウンドを設置するなど、運営協力を行っています。



札幌ドーム青少年スポーツ育成活動

主に18歳以下の主要アマチュアスポーツ競技団体を対象として、地域のスポーツ振興と発展を目的とした技術指導、選手育成の場を提供しています。



●北照高校野球部
(明治神宮野球大会)

2011年11月に開催された明治神宮野球大会に北海道地区代表として出場する際、会場となる神宮球場の人工芝の感触に慣れるために練習の場を提供。

●コンサドーレ札幌U-18 (チャンピオンシップ)
高円宮杯U-18サッカーリーグ2011プレミアリーグ
イースト1位になり、12月17日に日本一をかけてチャンピオンシップを戦ったチームに練習の場を提供。

スポーツイベント・団体への支援

●北海道マラソン ●宮様スキー大会後援会員
●ノルディア北海道賛助会員

地域の活動支援

地域に密着した活動に積極的に取り組んでいます

札幌ドームを会場に「とよひら健康ウォーク」を開催

ウォーキングで区民に健康増進を図ってもらおうと豊平区が企画し、札幌ドームも協力。約200人が札幌ドームを起点にした2コースでウォーキングを楽しみました。



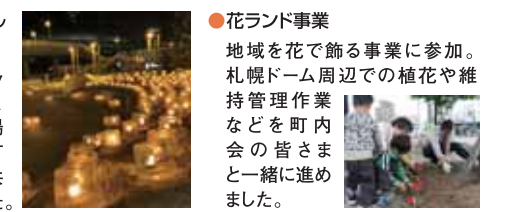
運動後は講演会などが行われ、豊平区のキャラクターなども登場。

町内会の一員としての活動にも積極的に参加しているほか、近隣の約12,800世帯を対象に、札幌ドームでの開催イベントの情報などを掲載した「札幌ドームイベントニュース」を配布しています。

●地元町内会主催「花ランド事業」への協力
●地元町内会主催夏祭りなどへの賞品提供 ●豊平区成人の日への協賛
●冬季ボランティアサポートプログラム参加(周辺歩道の砂まき、除雪など)

●ウェルカムキャンドル2011

手作りのアイスキャンドルに火を灯し、札幌ドーム前広場を彩るイベントに町内会の皆さまと共同で取り組みました。



●花ランド事業

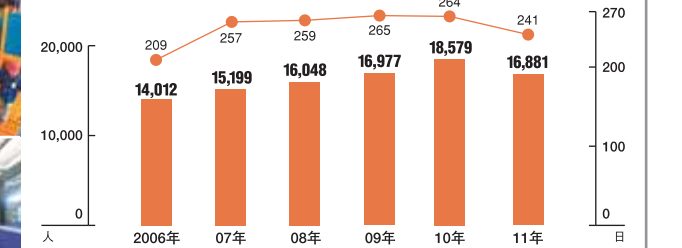
地域を花で飾る事業に参加。札幌ドーム周辺での植花や維持管理作業などを町内会の皆さまと一緒に進めました。

■大型複合遊具「キッズパーク」は地域の子供たちに親しまれています

札幌ドーム3階にある「キッズパーク」は、子供たちが元気に遊べる大型複合遊具。イベントが開催されない日には無料でご利用いただくことができ、地域の子供たちに親しまれています。



●キッズパーク来場者数の推移(非イベント日)



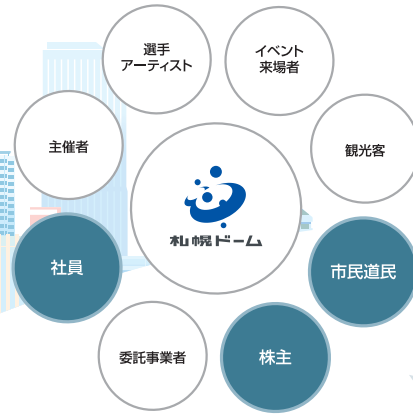
小さなお子様向けのベビーコーナーを併設し、授乳室やおむつサンプリングマシンも用意しています。

※札幌ドームの総来場者数実績には、キッズパークの利用者数は含まれておりません。

[公正に事業を推進するために]

信頼される企業であるために

札幌市の出資団体であり、「札幌ドーム」の指定管理者である私たち株式会社札幌ドームは、札幌ドーム条例等に基づきコンプライアンスを徹底し、公正に事業を推進しています。



信頼される企業であるために、公正に事業を推進します …… P.30

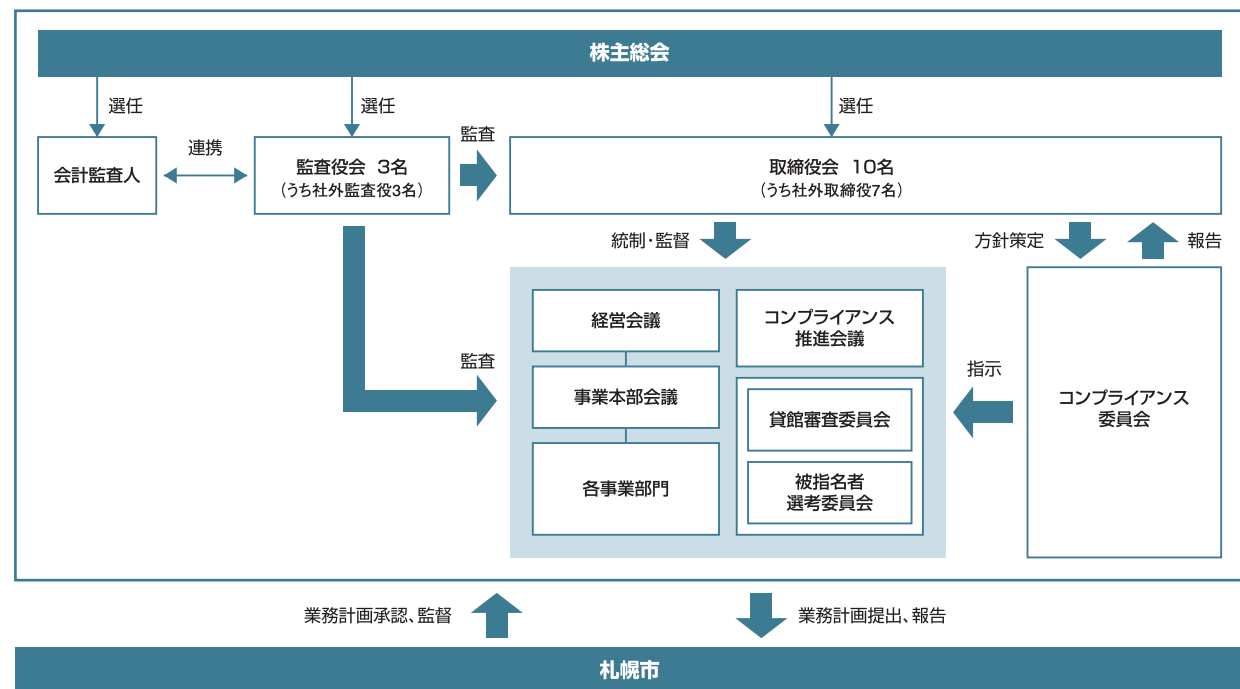
[中期経営計画におけるCSRへの取り組み課題]

- 公共性を意識した事業活動の推進
- コンプライアンスの確立



コーポレートガバナンス体制

当社は、札幌市が55%出資する出資団体であり、「札幌ドーム」の指定管理者でもあります。市民の皆さまの大切な財産を管理運営する企業として、札幌ドーム条例等に基づき、公正に事業を推進するため、以下のようなコーポレートガバナンス体制をとっています。



信頼される企業であるために、公正に事業を推進します

当社は、信頼される企業であるため公正に事業を推進し、札幌ドームの管理運営にあたっています。また、さらなるコンプライアンス意識の向上を目指す取り組みも進めています。

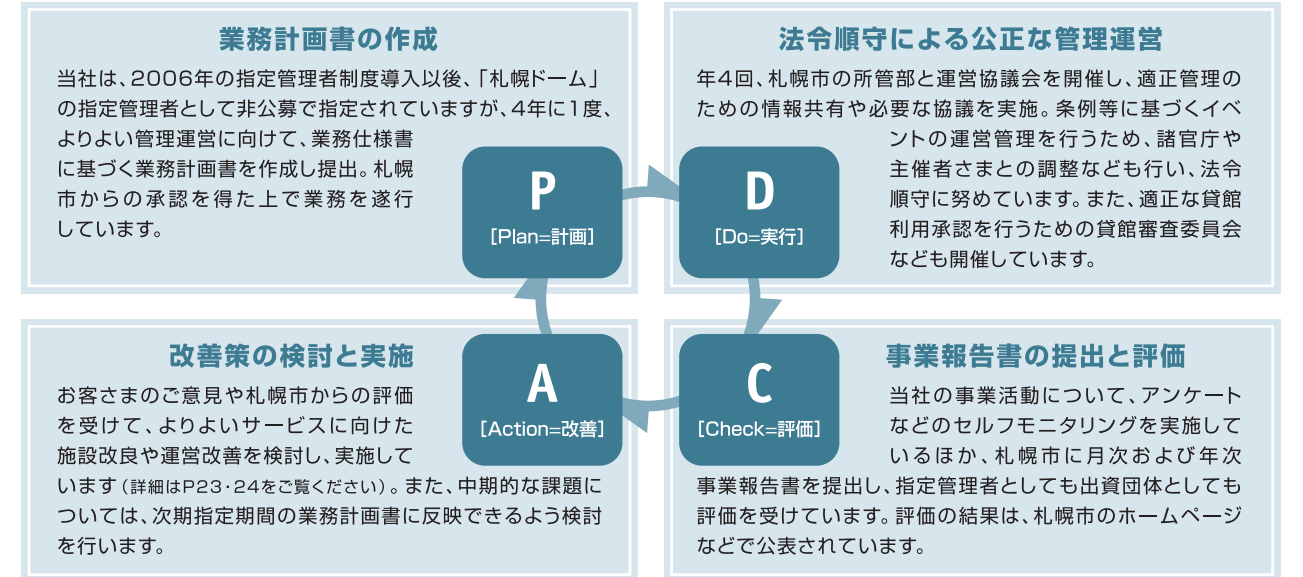
札幌市の出資団体として

条例に基づき、市民の財産「札幌ドーム」を公正に管理運営しています

当社は、札幌市と協議しながら、札幌ドームの公正な管理運営にあたっています。指定管理者制度に基づく「PDCAサイクル」(下図参照)を運用し、市民サービスの向上を目指して、事業活動に取り組んでいます。



※札幌ドーム条例は、札幌市公式ホームページでご覧いただけます。



第3セクターのビジョナリーカンパニー※として

中期経営方針に掲げる、第3セクターの「ビジョナリーカンパニー※」を目指し、コンプライアンスの確立に向けた取り組みを進めています。

※ビジョナリーカンパニー:基本理念をしっかりと維持し、かつ先見性を持って進歩する企業

コンプライアンス委員会の設置について

当社の内部統制システム構築に関する基本方針に基づき、コンプライアンスの徹底および浸透を図るため、2012年3月より社外委員を含むコンプライアンス委員会を設置しました。また、委員会のもと、当社各部長によって構成するコンプライアンス推進会議も設置。今後は、コンプライアンス相談窓口の設置など、具体策の検討を進めています。

コンプライアンス意識向上のため研修を実施

法令順守・服務規律に係る教育研修などにも力を入れています。食品衛生講習会、防火管理講習会、危機管理広報セミナーなどに社員が参加し、コンプライアンス意識のさらなる向上に努めています。

暴力団等排除に向けた取り組み

●プロ野球での取り組み

北海道警察・北海道暴力団追放センターにより、不当要求防止責任者専任事業者として認定。「北海道日本ハムファイターズ、札幌ドーム暴力団排除対策協議会」に加盟し、シーズン開幕前に実務者連絡会を開催して活動計画を議論しています。また、営業担当社員が暴力団排除対策協議会講習に参加するなど、お客さまが安心して観戦できる環境づくりを進めています。



●Jリーグでの取り組み

Jリーグによる「暴力団等排除宣言」(2012年2月)を試合時に掲出。宣言に基づき、安全なスタジアムでスポーツを観戦していただくための環境整備などに取り組んでいます。

誇りに思える職場であるために

仕事と生活の調和を図りながら、当社の一人ひとりが成長していくことは、「札幌ドーム」としての成長につながります。全社員が誇りに思える職場を目指し、環境の整備を図っています。

社員全員が誇りに思える職場を目指しています……P.32

【中期経営計画におけるCSRへの取り組み課題】

- ワークライフバランスの推進
- 人材育成の充実



社員全員が誇りに思える職場を目指しています

お客さまに最高のホスピタリティをご提供するには、社員一人ひとりが日々成長するとともに、安心して働ける環境づくりが必要です。家族にも誇れる仕事・職場を目指し、取り組みを進めています。

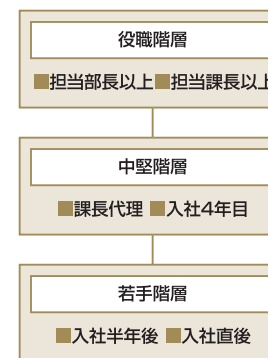
職場環境の充実

社員研修制度を整備しています

社員一人ひとりが持っている「個の力」を最大限に高めるため、研修制度を整備。当社の資産ともいえる「人財」の育成に力を入れています。

階層別社員研修を採用し段階的にスキルアップ

戦略的な人材育成制度として、階層別の社員研修を採用。社歴や役職に応じて段階的に実施し、組織の中での役割を認識してスキルアップを図ることを目指しています。社外での研修は多くの刺激を受け、視野を広げる機会になるため、モチベーションの向上にもつながっています。



職務に応じた各種社員研修も実施

他のスタジアムやエンターテインメント施設でのサービスから学ぶための視察や、それぞれの職務で求められる専門的な研修などを実施しています。

- 2011年度実績
- 国内スタジアム視察研修
 - 社内コミュニケーション研修
 - 面接官研修 等



資格取得奨励制度で能力向上を促進

社員の能力とモチベーションを向上させるために、業務の遂行に必要なあるいは関連する資格の取得を奨励する制度を設けています。資格取得は人事考課制度とも連動させており、難易度の区分によって定められた報奨金を支給しています。

業務のために必要な資格取得を推奨しています

所属する部門によって業務に欠かせない資格があるため、体育施設管理士などの業務に必要な資格取得を推奨しています。

- 2011年度実績
- 体育施設管理士
 - エネルギー管理員
 - 車輛系建築機械(整地運搬)運転技能者

キャリアアップを目指すための資格取得を推奨しています

社員のキャリアアップに向けて、所属する部門の業務を超えて資格の取得を奨励。難易度の高い資格取得にも積極的に取り組み、成果が上がっています。

- 2011年度実績
- エネルギー管理士
 - MBA経営学修士
 - ビジネス会計検定

健康増進のための取り組み

トレーニングルーム利用料を助成

札幌ドーム内のトレーニングルーム利用料金の一部を助成。勤務後などに一般のお客さまとともにトレーニングルームを利用し、健康増進や心身のリフレッシュに役立てています。

2011年度の社員利用は計279回でした。



年2回の健康診断を実施

社員の健康を第一に考え、法定項目を超える健康診断を実施。年齢に応じた検査項目の充実や女性社員を対象とした婦人科検診などを実施しているほか、配偶者の健康診断も充実させています。また、イベントによって勤務が深夜に至る社員に配慮し、全社員が年2回の健康診断を受診しています。

ワークライフバランスの推進

社員の仕事と生活の調和を図るため、福利厚生に関する要望のアンケートを実施した上で制度を構築・整備。社員を支えてくれる家族の皆さまも利用できる取り組みなどを実施し、職場環境の充実を図っています。

家族を含めた試合観戦の機会を設けています

社員の福利厚生の一環として、コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの年間シートをそれぞれ購入し、1シーズン中に社員1人につき4席・1試合の観戦ができる機会を設けています。観戦を楽しみながら家族に職場の様子を知ってもらうとともに、社員自身がお客さまの目線に立つことで新たな体験や気づきにつながる機会にもなっています。



幅広い福利厚生メニューの提供

社員と家族が日常生活で利用できるプログラムを提供するアウトソーシングサービス「福利厚生倶楽部」を活用。低コストの余暇支援サービスや全国各地の施設の割引、慶弔やライフプラン支援など、幅広い福利厚生メニューを利用することができます。

柔軟で効率的な勤務体制を採用

イベント開催などを考慮したシフト制による休日設定やリフレッシュ休暇などの制度を設けています。柔軟で効率的な勤務体制をとることで、仕事と生活の調和を図る環境づくりを行っています。

当社は、札幌市のワークライフバランス推進事業の認証企業として様々な取り組みを進めています。

環境にやさしい施設であるために

札幌ドームは「環境方針」「環境行動指針」を策定し、お客さまのご協力をいただきながら、みらいの子供たちのために「環境にやさしい施設」を目指す活動に取り組んでいます。



- 人と自然にやさしい施設を目指した取り組みを進めています … P.34
- CO₂排出量の削減および省エネルギーに努めます … P.35
- 廃棄物の排出の削減に努めます … P.36
- 資源循環を促進するためリサイクルに努めます … P.37
- 環境問題の啓発啓蒙および情報発信に努めます … P.39

【環境方針】

私たちは、みらいの子供たちに美しい地球を残し、札幌ドームを環境にやさしい施設として維持し続けることを使命として、訪れるすべてのお客さまとともに、よりよい環境づくりに向けて取り組みます。

【環境行動指針】

1. 私たちは、事業活動全般が環境側面に關わる環境関連法規、規制、協定等を順守します。
2. 私たちは、事業活動全般に關わる環境側面として、以下のことを環境管理重点テーマに取り組みます。
 - ① CO₂排出量の削減および省エネルギーに努めます
 - ② 廃棄物の排出の削減に努めます
 - ③ 資源循環を促進するためリサイクルに努めます
 - ④ 環境問題の啓発啓蒙および情報発信に努めます
3. 私たちは、環境方針達成のため、札幌ドームで働く全従業員に周知徹底を図るとともにすべてのお客さまに理解と協力を求めます。

【環境目標】

札幌ドームの環境数値目標は「10・20・30」です。

- ① CO₂排出量を2006年度より10%削減します。
- ② 一般廃棄物の排出量を2006年度より20%削減します。
- ③ リサイクル率を30%以上にします。

上記すべての数値目標を2012年度までに達成します。

2010年度、上記②③につきましては、実績が目標を大幅に上回ったため、2011年度から、下記のとおり上方修正いたしました。

- ② 一般廃棄物の排出量を2006年度より35%削減します。
- ③ リサイクル率を45%以上にします。

札幌ドーム ECO MOTION ～ひとりひとりがエコプレイヤー～



札幌ドームは、札幌市環境マネジメントシステムを通じて、地球温暖化対策及び環境配慮の推進に努めています。

さっぽろエコメンバー



北海道グリーンビズ認定



2009年度「創意あふれる取組」部門（もったいない心分野）に認定されました

グリーン購入ネットワーク



グリーン購入に取り組んでいます

チャレンジ25



人と自然にやさしい施設を目指した取り組みを進めています

札幌ドームは、周囲の環境や生態系に配慮しながら広大な敷地の維持管理を行い、人と自然にやさしい施設を目指してよりよい環境づくりに取り組んでいます。

「スポーツの庭」としての札幌ドーム

エコロジカルプランニングに基づいた緑豊かな「スポーツの庭」を実現

白旗山から連続する豊かな自然を背景とした農耕地と、商業・住宅地が群を成す都市の境界に位置する広大な敷地が、ガーデニング(庭造り)の手法で農耕地から都市を緩やかにつなぐ「スポーツの庭」に生まれ変わり、札幌ドームが誕生。以来、生態系に配慮した敷地の維持管理に取り組んでいます。

●建設前



●2010年



札幌ドーム建設に先立ち、食物連鎖の上位に位置する「鳥」の視点から、建設予定地を含む周辺地域の生態系を分析。鳥が暮らしやすい環境づくりを基調として、森林や水辺、草地など11種の緑地植生モデルを導入しました。建設前よりも豊かな生態系を築くことを目指したこのエコロジカルプランニングにより、緑と生き物を育む下地が整えられました。



「スポーツの庭」を守るために適切な維持管理を行っています

緑や生き物たちを守り、「スポーツの庭」を維持しながら、景観の美しさとお客さまの安全性を確保するために、散策路などの草地の刈り込み、植栽の剪定や冬囲いなどを適切な時期に実施しています。



敷地内の樹木育成調査を実施

2011年度には樹木育成調査を実施し、1本ずつの状態や倒木の危険性などを確認しました。10m以上の木は、開業時の約6倍(約800本)と木々が大きく生長したことが確認され、また、1m以上の木は約5000本を数えました。小さな無数の幼木とともに、札幌ドームの森が形成され、30種類を超える鳥たちの暮らしを支え、訪れる方たちに憩いの場を提供しています。

環境関連の法令順守を徹底しています

委託事業者さまとも連携し、大気汚染の防止、廃棄物処理や燃料など危険物の保管、芝生管理に使用する薬品管理など法令順守を徹底、池の水質管理も行い周辺環境に配慮しています。

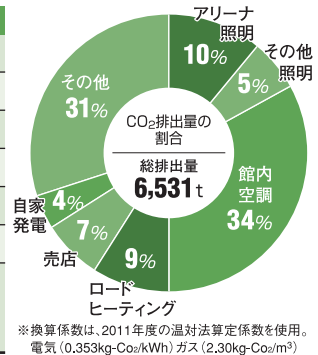
環境負荷低減に向けて

事業活動による環境負荷を把握し、さらなる取り組みにつなげています

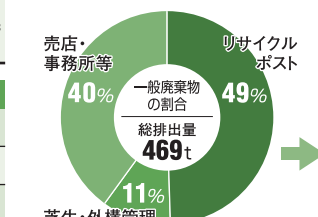
人と自然にやさしい施設であるために、事業活動による環境負荷を正しく把握することに努め、よりよい環境づくりに向けた活動へとつなげています。

●札幌ドームの主な環境負荷について(2011年度)

INPUT		OUTPUT		CO ₂ 排出量	
電気	購入電力	アリーナ照明	656 t	6,531 t	
	自家発電	その他照明	373 t		
ガス	1,136 千m ³	売店	453 t	1,981 t	
		館内空調	2,235 t		
		ロードヒーティング(融雪含む)	573 t		
		自家発電(ガス)	260 t		
ガソリン・灯油		その他	1,981 t		
		給湯・大型可動機/大型映像装置 給排水ポンプ・昇降機 芝管理機材・投光機など			
水	上水	下水	96 千m ³		
	井水	77 千m ³			
		一般廃棄物	排出量		
		リサイクルポスト	232 t		
		売店・事務所等	188 t		
		芝生・外構管理	49 t		



※換算係数は、2011年度の温対法算定係数を使用。電気(0.353kg-CO₂/kWh)ガス(2.30kg-CO₂/m³)



自家発電の電力をイベント時に使用

電力使用のピークカット(最大需要の抑制)を目的とした天然ガスエンジンの常用発電機が設置されており、開業以来、イベント時に使用する電力の一部(約15%)を補っています。

リサイクル	46%
非リサイクル	54%

※イベント設置等に係る廃棄物は、原則持ち帰りをいただいております。一部イベントスタッフの弁当等のごみは「リサイクルポスト」に含めています。※リサイクルポストに廃棄いただいた紙カップのフタとストローの一部は「売店・事務所等」に含めています。

環境管理重点テーマ① CO₂排出量の削減および省エネルギーに努めます

CO₂(二酸化炭素)排出量の削減と省エネルギーを推進するために、環境にやさしい技術や工夫を数多く導入しています。

〔環境目標〕CO₂排出量を2006年度より10%削減します。

省エネ型の設備を積極的に導入しています

CO₂の排出量を削減するために、2007年より省エネルギー型の空調用送水ポンプ制御システム「エコノパイロット」などを導入。省エネ設備の導入や制御改良などを積極的に進めることで、省エネルギーを推進しています。

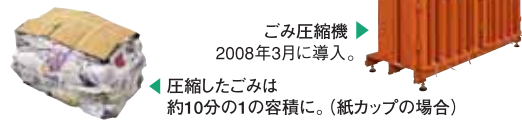


排出削減量(国内クレジット)の認証

エコノパイロットの運転に伴うCO₂排出削減量は、2010年8月に国内クレジット制度(国内排出削減量認証制度)に札幌市の事業として認証されており、2011年度は93t(審査中)貢献しました。

ごみを圧縮して減容化

回収した紙カップ、紙トレイ・弁当外箱、ペットボトルなどは圧縮。減容化によってごみの搬送回数を減らし、CO₂排出量を削減。

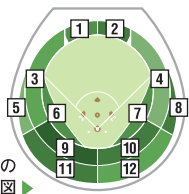


ごみ圧縮機
2008年3月に導入。
圧縮したごみは約10分の1の容積に。(紙カップの場合)

環境に配慮した設計を活用した運営を心がけています

スタンド席の局所空調

アリーナすべての冷暖房では多くのエネルギーが必要になるため、スタンド席の足元から冷・温風が吹き出す座席周辺に的を絞った局所空調を実施。さらに、スタンド全体の空調ゾーンングによる観客数に応じた冷暖房で、省エネルギーを図っています。

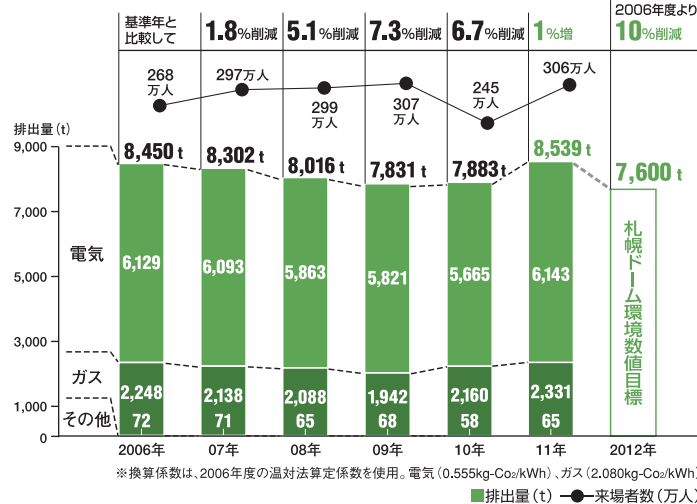


自然換気・自然採光を利用

天井の開閉式パネルとオープンアリーナ・屋内アリーナの開閉式扉開口部の操作で自然換気。壁のガラス面や天窗の自然採光も活用し、エネルギー消費を抑えています。



CO₂排出量の推移



環境設備投資や照明モードのコントロール等により、エネルギー抑制効果はあったものの、震災の影響によりプロ野球開催日が増加した他、冷房使用のピークとなる8月は、大規模イベントが集中。また、自家発電機の使用頻度が高まったこともあり、2006年比1%増となりました。

トイレ照明へ人感センサーを導入

総合案内やキッズパークなどのトイレ照明に、人感センサーを導入。使用時のみ照明がつくようにし、電力消費量の削減に努めました。

省エネを考えた照明モードを緻密に制御

イベント開催、ドームツアー、清掃など、利用形態に応じて照明モードを制御し、省エネを推進。プロ野球終了後のグラウンド整備時の照明モードを2009年5月より見直し、プロ野球開催時の電力消費量を約5%削減しています。



札幌市の太陽光発電事業に協力しています

札幌市は、CO₂排出量の削減のために太陽光発電の導入を進める「札幌・サンサンプロジェクト」を実施しています。札幌ドームの敷地内にも全長326mにわたり太陽光パネル432枚が設置され、2011年3月より本格稼働。2011年度の太陽光発電量は62,961kWhとなりました。



CO₂の排出量削減に向けて取り組みを拡大しています

広報誌などの印刷にグリーン電力を導入

2010年12月より札幌ドームが発行する広報誌などの印刷に、風力発電によるグリーン電力を利用。環境負荷が少ない自然エネルギーによる発電でCO₂排出量を削減。

「バイオマスプラスチック」製カップを使用

2008年3月より、各種ドリンク販売用クリアカップに、トウモロコシのでんぷんを原料とした「バイオマスプラスチック」製カップを使用。



環境管理重点テーマ② 廃棄物の排出の削減に努めます

お客さまにも理解と協力をいただきながら、廃棄物の排出を削減する取り組みを積極的に進めています。

〔環境目標〕一般廃棄物の排出量を2006年度より20%削減します。※2011年度から、目標数値を35%削減に上方修正いたしました。

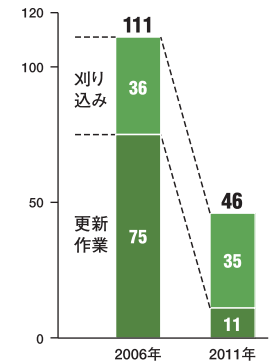
芝生の更新作業で発生する芝ごみの分別によって廃棄物を大幅に削減

天然芝サッカーグラウンド(2面)の芝の更新作業として、地面が固くなる空気の流れがなくなると根が呼吸しづらくなるため、芝生に穴を開けるコアリングを行います。この作業で大量に発生する芝・根と砂が混じった芝ごみは、2007年秋からスタッフが手作業で分別。芝・根だけを焼却ごみとし、砂はサッカーグラウンドのメンテナンスに再利用することで、廃棄物の量を大幅に削減しています。



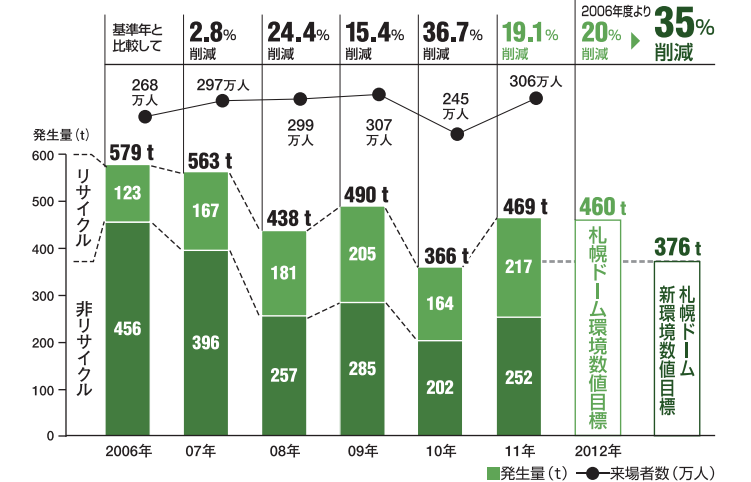
●コアリング
良質な芝の育成には欠かせない作業で、札幌ドームでは年2回程度実施

芝ごみ廃棄物の推移



更新作業の際の芝ごみは、2006年合計で111t(刈り込み36t、更新作業75t)でしたが、芝・根と砂を分別することによって2011年の廃棄物の排出量は46t(刈り込み35t、更新作業11t)となり、2006年の約3分の1に削減できました。

一般廃棄物の発生量の推移



2006年と比較し芝ごみや、飲食事業者や事務所からの廃棄物抑制をしましたが、イベント数・来場者が増えたことによって、飲食やグッズ商品用の段ボールや生ごみが増加しており、新環境数値目標に対して、15.9ポイント及びませんでした。

環境に配慮した容器や食材を使用したお弁当を企画・販売しました

地球にやさしい「エコ弁当」

「環境」に配慮することをコンセプトにした新たな弁当を企画しました。ごみの減量化をはじめCO₂排出量の削減、リサイクルなどにつながる容器や食材を使用しています。



●ビビンバボウル

ごみの減量化を考え、バラや中仕切りを使わずに作り直しました。

●道産づくし弁当

地産地消を進めるため、北海道産のお米やおかずにご利用いただきました。

家庭で再利用できるプラスチック製容器のお弁当

繰り返しお使いいただけるプラスチック製の容器を使用。召上がった後はお持ち帰りいただき、弁当箱として再利用いただけます。



●ダルビッシュ弁当

●稲葉弁当

売店のレジ袋削減を進めています

2007年2月より原則としてレジ袋をお渡しせず、必要なお客さまにのみお渡しすることでレジ袋削減を進めています。



来場されるお客さまの理解が進み、レジ袋削減の取り組みも浸透しています。

ホームページなどの活用で印刷物を削減

ホームページを積極的・効果的に活用することによって、広報誌などの印刷物の見直しを行い、紙の消費量の削減を図りました。

水資源の有効活用を目指し、節水への取り組みも進めています

トイレ洋式化に伴い節水タイプの機種へ

札幌ドームではお客さまのご要望に応じてトイレの洋式化を進めるにあたり、節水タイプの機種を選定し、水の使用量の削減に取り組んでいます。

手洗いの使用感を損ねない節水金物を設置

トイレの手洗い用の水栓に節水金物を設置。お客さまの使用感を損ねずに節水することができます。



環境管理重点テーマ③ 資源循環を促進するためリサイクルに努めます

お客さまとイベントの主催者・委託事業者さまの協力のもとに、紙カップや紙トレイ・弁当外箱などのリサイクルに取り組んでいます。

[環境目標] リサイクル率を30%以上にします。※2011年度から、目標数値を45%以上に上方修正いたしました。

お客さま、主催者さま、委託事業者さまとともに資源循環に取り組んでいます

札幌ドームは、お客さま、主催者さま、委託事業者さまとともに資源循環に取り組み、分別回収を行ってリサイクルを推進。

多くのお客さまにリサイクルポストを利用した分別回収にご協力いただき、紙カップはトイレトペーパーの原料としてリサイクルし館内のトイレで使用するなど、取り組みが定着してきています。



一般ごみ

食品残渣、ペットボトル、プラスチック類

紙製品・雑がみ

新聞・チラシ、雑誌/紙ナフキン、紙パック、紙トレイ、弁当外箱

飲料用紙カップ

紙カップ

氷・飲み残りフタ・ストロー

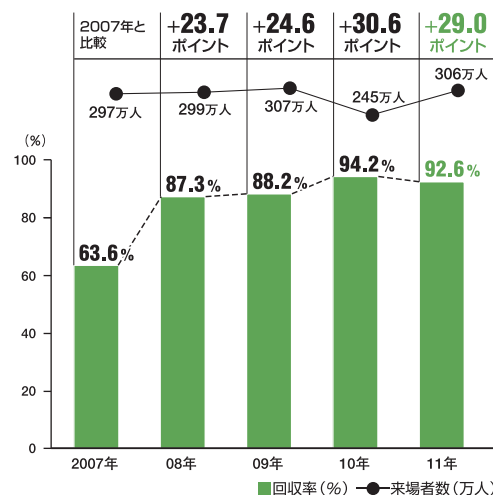
氷・飲み残り、フタ、ストロー

●札幌ドーム「リサイクルポスト」
上記の4種類にごみを分別回収するため各所に設置。イベント時は分別を案内するスタッフを配置するほか、主催者さまのご協力により大型ビジョンを使ってお客さまに分別を呼びかけています。

●リサイクルの流れ



●紙カップ回収率の推移



2011年度は、約166万個の紙カップが分別回収され、約2万7千個のトイレトペーパーに生まれ変わりました。

お客さまの環境への思いを原動力にしてリサイクルを推進

リサイクル率の向上がやりがいになっています

これまで段階的に分別を進めていたものの、リサイクルポストを利用した大規模分別導入前は、不安とプレッシャーを感じました。しかし、お客さまの分別意識は想像以上に高く、その思いに応えなければ再分別や洗浄作業に励み、日々工夫を重ねました。その結果が数字となって現れると、札幌ドームの規模だからこそ、環境貢献の規模も巨大であることを実感。今はリサイクル

率の向上がやりがいになりました。また、お客さまが進んで分別してくださることでスタンド席のごみも減少しました。お客さま一人ひとりの環境への思いを原動力にして、これからもリサイクルを進めきれいな札幌ドームを維持していきたいです。

株式会社ベルックス 札幌事業部 櫻井 覚 さん



売店や事務所などから排出される事業系ごみも分別回収を実施

当社社員が事務所内などでごみの細かな分別回収に取り組んでいるほか、イベント主催者さま、委託事業者さまにご協力いただき、売店などから出る事業系ごみの分別回収を進めています。古紙やダンボール、生ごみなど、リサイクルできる廃棄物の分別回収が着実に浸透し、リサイクル率向上に大きく貢献しています。

●分別ステッカー



売店事業者さまに、分別したごみの種類に応じて分別ステッカーを貼っていただいた上で回収しています。

外構作業による廃棄物のリサイクルを推進しています

枝打ちなどの作業で発生した剪定枝や、十分に生長した木から外した添え木などは、まとめてリサイクル施設に運搬。植栽チップなどに生まれ変わり再利用されています。

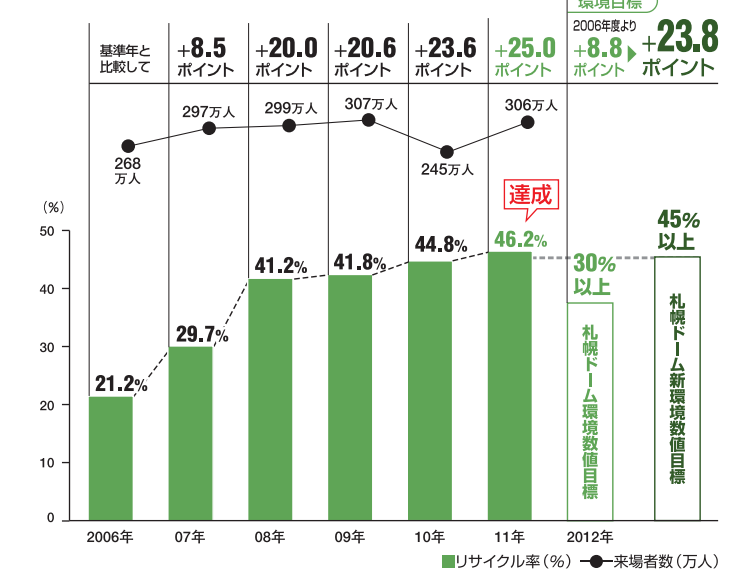


●リサイクル項目

分別品目	リサイクル品目
新聞・OA紙・チラシ	再生紙
ダンボール	ダンボール紙
紙トレイ・弁当外箱等	再生紙
雑誌	再生紙
紙カップ	トイレトペーパー
シュレッダーくず	トイレトペーパー
雑がみ	再生紙
ビン	再利用・カレット [※] 等
缶	鋼材
ペットボトル	繊維・ペットボトル
一斗缶	鋼材
酒類ビン	カレット [※] 等
資源化ごみ	固化燃料
生ごみ	堆肥・飼料
剪定枝	植栽チップ

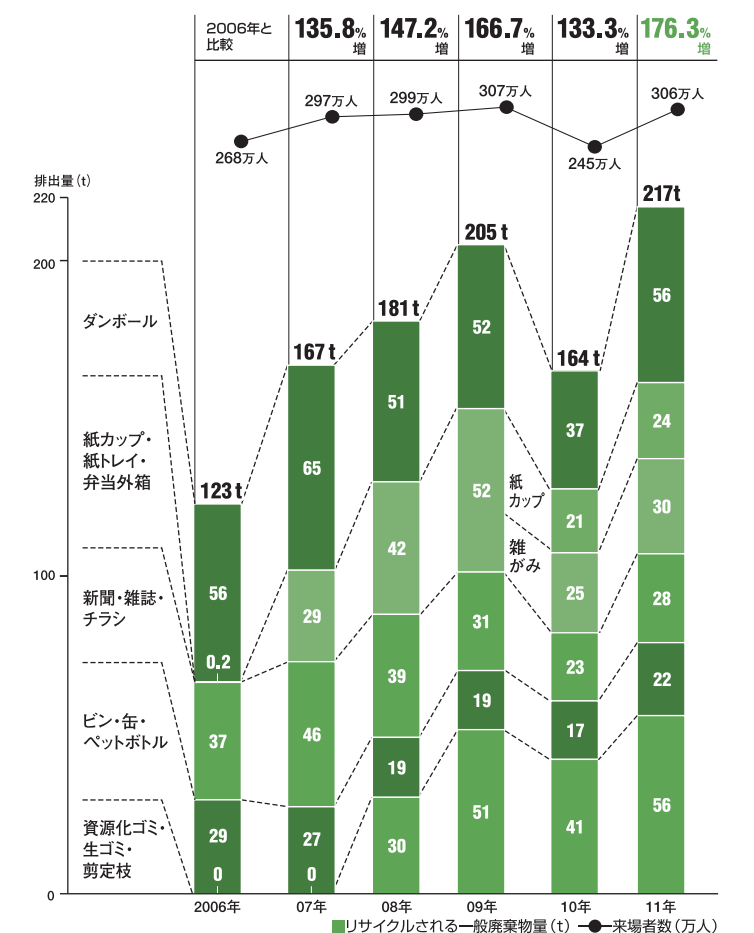
※ガラスビンの原料

●リサイクル率の推移



廃棄物量の増加につながった飲食・物販の段ボールや生ごみが確実に分別されていた他、リサイクルポストによるごみ分別が奏功し、リサイクル率が新環境数値目標を上回りました。

●リサイクルされる一般廃棄物量の推移



札幌ドームのCSR
すべてのお客さまのために
地域社会とともに
公正に事業を推進するため
社員一人ひとりが
環境にやさしい施設を目指して

環境管理重点テーマ④ 環境問題の啓発啓蒙および情報発信に努めます

札幌ドームの環境についての取り組みを多くの方々に知っていただき、さらに大きく輪を広げていくために、さまざまな活動を展開しています。

札幌ドームを通じて、環境への関心を高める取り組みを積極的に進めています

プロ野球やJリーグが開催される札幌ドームは、子供たちにとって憧れの場所であり、身近な場所でもあります。子供たちの札幌ドームへの関心を、環境への関心につなげられるような取り組みを行っています。

札幌市青少年科学館「環境科学展」に出展

札幌市青少年科学館で開催された「環境科学展」に札幌ドームのブースを出展しました。札幌ドームの生物多様性をはじめCO₂削減やリサイクルの取り組みなどを紹介する環境啓発パネルの展示、クイズ、芝ごみ分別体験など、訪れた子供たちが興味を持ってくれる内容のブースを展開。芝生の種類や生長の仕組みなどを紹介するミニパンフレットも配布しました。2日間の開催で、クイズや芝ごみ分別体験に500人を超える子供たちが参加してくれました。



●芝ごみ分別体験を実施
芝生の更新作業で発生する芝ごみをスコップとざるで分別。芝・根は焼却ごみに、砂は芝生メンテナンスに再利用することでごみの量が減ることを体験してもらいました。

●ミニパンフ「芝生のひみつ」を配布



●札幌ドームクイズを実施



「札幌ドームで生き物発見!」を作成

前年度に続き、子供向けパンフレットを2011年度も作成し、札幌ドームの豊かな生態系を紹介。同じ内容を3階コンコース壁面にも展示し、お客さまにご覧いただきました。



小学校で配布される広報紙に紹介されました

子供たちが環境に関心を持てるようにと、札幌市内の小学校を中心に児童会館などでも配布されている「エコチル」の特集で、札幌ドームの環境への取り組みが紹介されました。



様々な活動に参加

中学生の職場体験を実施

近隣中学校が実施する職場体験学習に協力し、生徒の皆さんにスタンド席の清掃作業など札幌ドームで行われている仕事を体験していただきました。また、札幌ドームの環境への取り組みに関する講義も行いました。



「社内エコ行動」に取り組んでいます

離席時のパソコンディスプレイ電源オフなどの節電徹底や、マイカップ・マイ箸利用などの「社内エコ行動」を推進。月別に強化項目を決め、社員一人ひとりが積極的に取り組んでいます。



- エコバッグ利用
- グリーン購入の推進
- クールビズ・ウォームビズの推進
- 節電の徹底
- ごみ分別の徹底
- 公共交通機関利用の推進
- マイカップ・マイ箸利用の推進
- コピー用紙・印刷用紙の削減
- リサイクル事務用品の積極利用

ノー残業デーを実施

2010年12月より、毎月1回「ノー残業デー」を実施。全社員が定時で退社することで、事務所内の省エネルギーを図っています。

「Kids' ISO 14000プログラム」に協賛しました

北海道と国際芸術技術協力機構が共同で実施している「Kids' ISO 14000プログラム」に協賛し、全道各地の小・中学生の環境意識向上に協力しました。



※「Kids' ISO 14000プログラム」は、国際芸術技術協力機構 (ArTech) が開発し、国連機関、国際機関と一緒に、国内、国際的に展開している環境教育プログラムです。

環境に関する情報を広く発信

札幌ドームの環境への取り組みに関する情報は、ホームページやパンフレットなどを通じて広く発信。毎年、札幌市内の事業者の環境報告書を紹介する「環境報告書展」にも出展しています。また、ドームツアーのお客さまにもリサイクルの取り組みなどを紹介しています。



スポーツボランティア・エコ研修会で報告

「みやぎ・環境とくらし・ネットワーク」(MELON)が主催し、仙台市で行われたスポーツボランティア・エコ研修会で、札幌ドームの環境への取り組みについて報告しました。



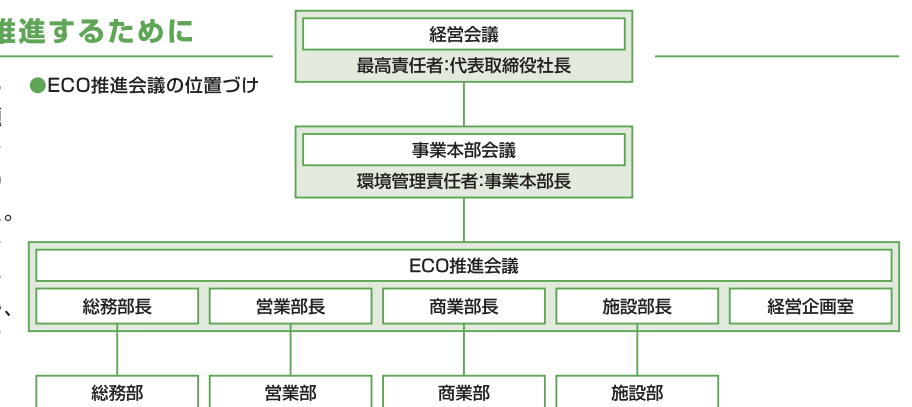
●環境活動の歩み

- 2001. 6 自然力を生かした環境配慮型施設として開業 (半地下構造、自然採光・自然換気、コージェネレーションシステム導入等)
- 2004. 3 蒸気系統バルブ類断熱工事
- 3 ファンス・カフェ サインをLED化
- 2007. 2 売店等でのレジ袋削減の推進開始
- 3 イベント開催時において「紙カップ専用回収ボックス」を設置し、紙カップの分別回収開始
- 6 北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」配布
- 7 「紙カップ専用回収ボックス」を改善し、「リサイクルポスト」として設置
- 8 タウン店舗サインをLED化
- 9 芝ごみの分別を開始
- 9 イベント開催時における紙トレイ・弁当外箱の分別回収テスト実施
- 9 北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」配布
- 11 冬季イルミネーションにグリーン電力の採用開始 (以降、毎年実施)
- 2008. 1 ボイラー室給排気ファンインバーター化工事
- 3 給湯設備改修工事 (「エコキュート」導入)
- 3 リサイクルポストをリニューアルし、紙トレイ・弁当外箱も含め、より分別しやすいデザインに変更
- 3 「バイオマスプラスチック」製カップの導入
- 3 ごみ圧縮機の導入
- 3 環境方針・環境行動指針・環境数値目標の策定
- 4 札幌ドーム ウェブサイト「社会と環境への取り組み」ページを公開
- 6 空調冷温水2次ポンプのインバーター化工事
- 6 「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008」にブース出展
- 7 北海道日本ハムファイターズ戦において「札幌ドームプレゼンツナイター〜ひとりひとりがエコプレイヤー」開催
- 9 ドームツアー・展望台スタッフユニフォームを「マテリアルリサイクルマーク」認定素材に切り替え
- 9 第10回グリーン購入大賞 (中小企業部門) において「大賞」を受賞
- 2009. 4 野球グラウンドの土の再利用を開始
- 5 プロ野球開催時 (グラウンド整備時) の照明モードの見直し
- 6 月別強化項目を定めた「社内エコ行動」の推進開始
- 8 酒類ビンの分別回収を開始
- 11 剪定枝の分別回収を開始
- 11 北海道グリーン・ビズ認定制度「創意あふれる取組」部門 (もったいない心分野) に認定
- 2010. 3 コンコース及び南北連絡通路 (ストリート) の一部照明をLED化
- 3 低騒音・省エネ型除雪ドーザーの導入
- 3 イベント開催時における雑音分別の開始
- 4 Kids' ISO 14000プログラムに協賛
- 8 エコポイントを活用し、環境寄付を実施
- 11 ペリメーターヒーターインバーター化工事
- 12 ノー残業デー (毎月1回) の開始
- 12 環境啓発企画「エコ宣言を書いてドームを自然でいっぱいしよう」開催
- 2011. 3 札幌ドーム太陽光発電設備設置
- 3 屋外イベント用「リサイクルポスト」製作
- 3 「エコ弁当」を企画
- 3 2011年度からの環境数値目標を一部上方修正
- 10 環境科学展に出展
- 2012. 2 トイレ照明人感センサー化工事
- 3 トイレ手洗い・トイレニングルームシャワーに節水金物を設置

環境への取り組みをさらに推進するために

2012年度を達成年と定めている現在の環境目標を振り返り、課題などを検討して環境への取り組みをさらに推進していくために、「ECO推進会議」の立ち上げを決定しました。事業活動に伴う環境負荷の分析を進め、各部門での取り組みを見直して横断的な活動につなげていくほか、新たな環境目標についても検討していきます。

●ECO推進会議の位置づけ



資料

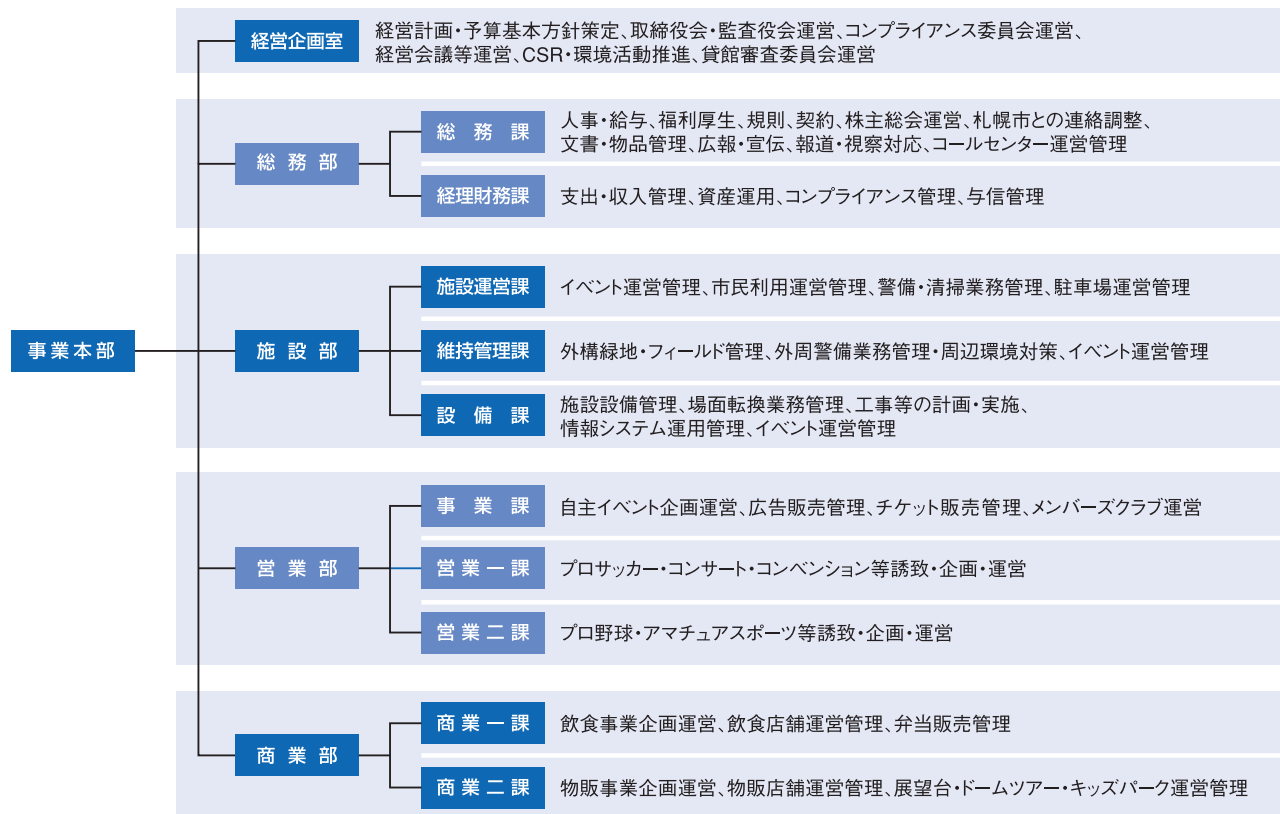
●会社概要

商号 株式会社札幌ドーム
 所在地 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
 代表者 代表取締役社長 長沼 修
 設立 1998年10月1日
 資本金 10億円
 売上高 36億1,746万円(2012年3月期)
 社員数 68名(2012年6月現在)
 事業内容 札幌ドームの管理運営業務全般
 [地方自治法及び札幌ドーム条例の規定に基づく]
 札幌ドーム指定管理者
 1.貸館事業(アリーナ・諸室等のイベント利用への貸出及びイベント運営サポート)
 2.商業事業(ドーム内の飲食物販事業の管理運営)
 3.観光事業(ドーム展望台及びドーム見学ツアーの運営)
 4.市民利用事業(草野球、サッカー場及びトレーニング室の利用管理)
 5.広告事業(ドーム内広告看板の販売管理)
 6.チケット事業(各種イベントのチケット販売管理)
 株主 札幌市(55%)、札幌商工会議所、北海道電力(株)、北海道瓦斯(株)、(株)北海道新聞社、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、サッポロビール(株)、(株)プリンスホテル、(株)竹中工務店、大成建設(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(株)電通、(株)電通北海道、(株)大広、東日本電信電話(株)、(株)近畿日本ツーリスト北海道、(株)NTT東日本-北海道、エヌ・ティ・ティ北海道テレマート(株)、北海道キリンビレッジ(株)、北海道ペプシコーラ販売(株)、(株)JTB北海道、(株)JTB商事、北海道放送(株)、札幌テレビ放送(株)、北海道テレビ放送(株)、北海道文化放送(株)

●札幌ドームの歩み

1993. 1	2002FIFAワールドカップ™大会国内開催候補地に決定
1996. 1	札幌市、ドーム化を決定
1996. 5	2002FIFAワールドカップ™大会日韓同時開催決定
1998. 6	着工
10	株式会社札幌ドーム設立
1999.10	札幌ドーム条例制定
2001. 5	竣工
6	開業(6/2)
9	来場者100万人突破
2002. 3	日本ハムファイターズ フランチャイズ移転計画「北海道新聞」紙面で公に
6	2002FIFAワールドカップ™大会開催
7	日本ハムファイターズ、フランチャイズ移転正式決定
10	トレーニングルーム オープン
12	「J1ベストピッチ賞」受賞
2003.10	札幌ドーム敷地内に、フランチャイズ事務所棟完成
2004. 3	北海道日本ハムファイターズ移転元年シーズン開幕
11	「札幌ドームMVP賞」創設
2005. 3	人工芝更新
2006. 3	来場者1,000万人突破、メモリアルコーナー設置
4	指定管理者制度導入
5	こどものひろば“キッズパーク”オープン
6	開業5周年「ありがとう札幌ドーム5周年キャンペーン」
10	北海道日本ハムファイターズ 日本シリーズ優勝
2007. 2	FIS ノルディックスキー世界選手権 札幌大会開催
10	来場者1,500万人突破
2008.10	2008FIA世界ラリー選手権 第14戦 パイオニア・カロツツェリア ラリージャパン開催
2009. 3	プレイヤーズビューシート設置
8	来場者2,000万人突破
2010. 9	2010FIA世界ラリー選手権 第10戦 ラリージャパン開催
2011. 6	開業10周年、来場者2,500万人突破
7	北ガスグループ 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム開催
2012. 2	札幌モーターショー2012開催

●組織図および事務分掌

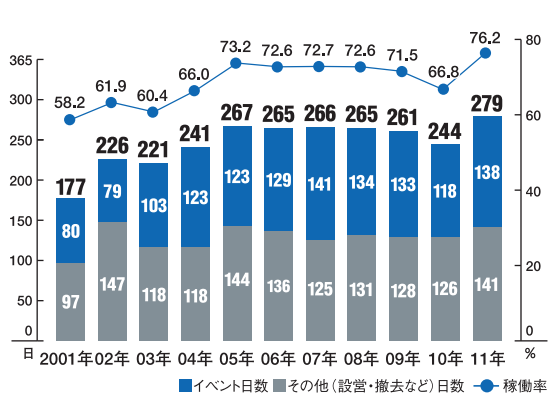


●2011年度イベント開催実績

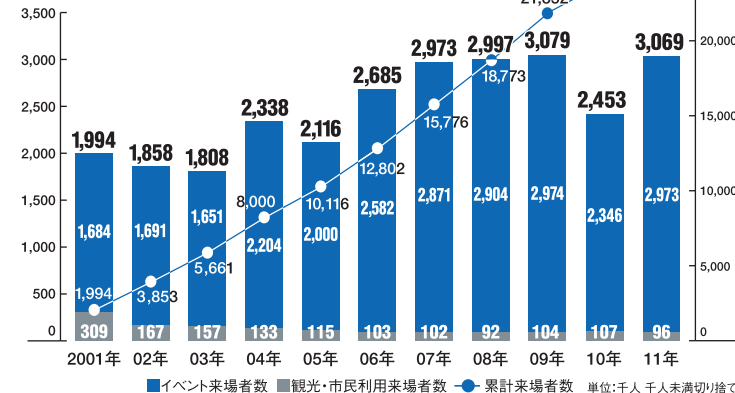
4月	2(土)・3(日) プロ野球12球団チャリティーマッチ 北海道日本ハム vs 東北楽天
12(火)・13(水)	北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ
15(金)~17(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 千葉ロッテマリーンズ
23(土)	コンサドーレ札幌 vs 湘南ベルマーレ
26(火)・27(水)	北海道日本ハムファイターズ vs 福岡ソフトバンクホークス
29(火・祝)~1(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ
5月	4(水・祝) コンサドーレ札幌 vs ザスパ草津
6(金)~8(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 福岡ソフトバンクホークス
15(日)	コンサドーレ札幌 vs ガイナーレ鳥取
17(火)・18(水)	北海道日本ハムファイターズ vs 東京ヤクルトスワローズ
20(金)・21(土)	北海道日本ハムファイターズ vs 読売ジャイアンツ
23(月)・24(火)	北海道G大学野球 春季リーグ戦
28(土)・29(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 広島東洋カープ
31(火)・1(水)	北海道日本ハムファイターズ vs 阪神タイガース
6月	8(水)・9(木) 北海道日本ハムファイターズ vs 中日ドラゴンズ
11(土)・12(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 横浜ベイスターズ
17(金)~19(日)	史上最大のワンピースイベント! ワンピース ドームツアー
26(日)	コンサドーレ札幌 vs カターレ富山
28(火)~30(木)	北海道日本ハムファイターズ vs 千葉ロッテマリーンズ
7月	3(日) 北ガスグループ 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム
6(水)	コンサドーレ札幌 vs ギラヴァンツ北九州
10(日)	次世代ワールドホビーフェア '11 Summer
11(月)	北海道日本ハムファイターズ vs 東北楽天ゴールデンイーグルス
15(金)~17(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ
24(日)	史上最強の移動遊園地 DREAMS COME TRUE WONDERLAND 2011
30(土)・31(日)	ARASHI LIVE TOUR "Beautiful World"
8月	2(火)~4(木) 北海道日本ハムファイターズ vs 千葉ロッテマリーンズ
5(金)~7(日)	集会イベント
8(月)	第33回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会
10(水)	キリンチャレンジカップ2011 日本代表 vs 韓国代表
12(金)~14(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 福岡ソフトバンクホークス
17(水)	コンサドーレ札幌 vs ジェフユナイテッド千葉
19(金)~21(日)	北海道日本ハムファイターズ vs オリックス・バファローズ
23(火)~25(木)	北海道日本ハムファイターズ vs 東北楽天ゴールデンイーグルス
27(土)・28(日)	2011 FIGHTERSジュニア王座決定戦
9月	3(土) 明治安田生命Presents KAZUMASA ODA TOUR 2011 どもども-その日が来るまで-
5(月)~7(水)	北海道日本ハムファイターズ vs 福岡ソフトバンクホークス
10(土)・11(日)	ヤマダ電機 東日本大震災復興応援セール&大処分蚤の市 in 札幌ドーム
14(水)・15(木)	札幌G大学野球 秋季リーグ戦

9月	17(土) 日本女子プロ野球リーグ2011 シンデレラシリーズ 兵庫スイングスマイリーズ vs 京都アストリウムス
21(水)	コンサドーレ札幌 vs 東京ヴェルディ
23(金・祝)~25(日)	北海道日本ハムファイターズ vs オリックス・バファローズ
23(金・祝)・24(土)	2011 FIGHTERSジュニア王座決定戦
10月	1(土)・2(日) 秋の祭典 USS札幌 スーパー中古車市 in 札幌ドーム
4(火)~6(木)	北海道日本ハムファイターズ vs 東北楽天ゴールデンイーグルス
8(土)~11(火)	北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ
13(木)	北海道日本ハムファイターズ vs 福岡ソフトバンクホークス
14(金)・15(土)	北海道日本ハムファイターズ vs オリックス・バファローズ
16(日)	北海道日本ハムファイターズ vs 東北楽天ゴールデンイーグルス
23(土)・30(日)	プロ野球 クライマックス・パ 北海道日本ハム vs 埼玉西武
11月	23(水・祝) KANJANI☆5大ドーム TOUR EIGHT×EIGHTER おもんなかったらドームすいません
26(土)	第24回 バイソケット2011 全日本大学アメリカンフットボール選手権大会 東日本代表決定戦
12月	3(土) コンサドーレ札幌 vs FC東京
4(日)	北海道日本ハムファイターズ ファンフェスティバル2011
10(土)	エアロスミス 札幌公演 2011
17(土)	ユニクロサッカーキッズ! in 札幌ドーム 2011
18(日)	第17回「赤い羽根」ティールボール北の甲子園大会 北海道知事CUP
24(土)・25(日)	EXILE LIVE TOUR 2011 TOWER OF WISH~願いの塔~
27(火)~29(木)	NPB12球団 ジュニアトーナメント ENEOS CUP 2011
1月	6(金)~9(月・祝) ふわふわアドベンチャー in 札幌ドーム
12(木)	札幌ドーム 小学生サッカー教室
14(土)	コンサドーレ札幌 2012 第12回全道市町村サッカーフェスティバル
15(日)	コンサドーレ札幌 キックオフ 2012
21(土)・22(日)	コンサドーレ札幌 2012 第12回全道市町村サッカーフェスティバル
24(火)	北海道日本ハムファイターズ ダルビッシュ選手記者会見
29(日)	その他イベント
2月	5(日) 第32回 札幌国際スキーマラソン大会
11(土・祝)・12(日)	第16回 トヨタ・ビッグ・エア in 札幌ドーム
17(金)~19(日)	札幌モーターショー2012
21(火)	マイナビ就職EXPO 北海道
3月	3(土)・4(日) プロ野球オープン戦 北海道日本ハム vs 東京ヤクルト
6(火)・7(水)	プロ野球オープン戦 北海道日本ハム vs 千葉ロッテ
10(土)	コンサドーレ札幌 vs ジュビロ磐田
20(火・祝)	Jリーグヤマザキナビスコカップコンサドーレ札幌 vs アルビレックス新潟
21(水)・22(木)	プロ野球オープン戦 北海道日本ハム vs 福岡ソフトバンク
24(土)	コンサドーレ札幌 vs 浦和レッズ
30(金)・31(土)	北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ

●利用日数および稼働率の推移



●来場者数の推移



●業績の推移

